
280 ユーザーマニュアル

リリース v1.1.1

2026-09-02

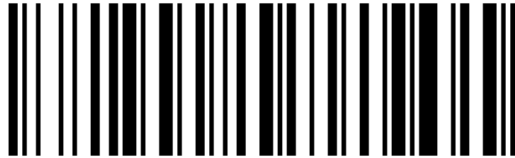
目次

1 システム設定	4
1.1 ファームウェアバージョンの読み取り	4
1.2 工場出荷時設定に戻す	4
1.3 動作モード	5
2 電源管理	6
2.1 スリープ時間を読み取る	6
2.2 スリープ時間を設定する	7
2.3 バーコードリーダーのバッテリー残量を取得する	8
3 通知設定	8
3.1 ブザー制御	8
3.2 振動モーター制御	10
3.3 ブザー音の定義	11
3.4 インジケータライトの定義	11
4 有線モード	12
4.1 USB 伝送方式	12
4.2 USB キーボードの送信速度	13
4.3 USB HID マルチキー送信設定	14
5 無線モード	14
5.1 インターフェイス設定の読み取り	14
5.2 無線伝送方式	15
5.3 2.4G ペアリング	15
5.4 受信機の動作モード	15
5.5 2.4G 送信キャッシュ	17
6 Bluetooth モード	18
6.1 インターフェイス設定の読み取り	18
6.2 Bluetooth 送信方法	18
6.3 Bluetooth 動作モード	19
6.4 Bluetooth 名の変更	20
6.5 Bluetooth HID ペアリングをクリアする	20
6.6 システムキーボードの機能	20
6.7 Bluetooth と 2.4G を 8 秒間押し続けると切り替わります。	21
6.8 Bluetooth キーボードの送信速度	22
6.9 Bluetooth 接続ステータスがスリープ設定にならない	23
7 キーボード設定	23
7.1 HID Keyboard General Setting	23
7.2 キーボードの言語設定	31
8 キーボード言語	31
8.1 現在のキーボードレイアウトを読み取る	31
9 データ編集	38
9.1 標準データ編集設定	38
9.2 拡張データ編集設定	45

9.3	端末文字設定	47
9.4	GS1 AI フィールドブラケット設定	48
10	読取モード	50
10.1	バーコード読取モード	50
11	読取モジュール設定	52
11.1	デバイスの機能設定	53
11.2	トリガー設定	54
11.3	エンジン Code ID	57
11.4	エンジン出力フォーマット	59
11.5	バーコード設定	60
11.6	読取モジュール設定コード	96
11.7	読取モジュール文字表	97
12	付録	115
12.1	文字検索テーブル	115

1 システム設定

1.1 ファームウェアバージョンの読み取り



ファームウェアバージョンの読み取り

1.2 工場出荷時設定に戻す

注釈

「カスタム既定値の書き込み」を実行済みの場合、「既定値に戻す」を実行すると、そのカスタム既定値に戻ります。それ以外の場合は、工場出荷時の既定値に戻ります。

重要

「工場出荷時の既定値を設定」を実行すると、すべてのカスタム既定値が消去され、工場出荷時の既定値に戻ります。



カスタム既定設定に戻す



カスタムの既定値を書き込む



工場出荷時の既定値を設定

1.3 動作モード

注釈

データのアップロードプロセス中に、「データアップロード」コマンドを再度スキャンすると、現在のアップロードはキャンセルまたは停止されます。

注釈

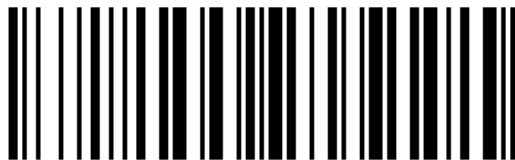
無線送信モードで自動保存を有効にすると、送信に失敗したバーコードが自動的に保存され、保存されたデータは「データアップロード」で読み込むことができます。



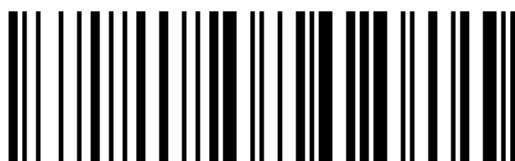
* 通常モード



保存モード



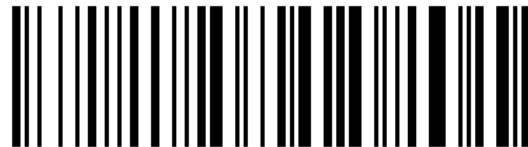
保存データをアップロード



保存済みバーコードの総数を読み取る



アップロード後に保存データを消去



ストレージ使用量を読み取る



保存済みバーコードを消去



* 自動保存モードを無効にする



自動保存モードを有効にする

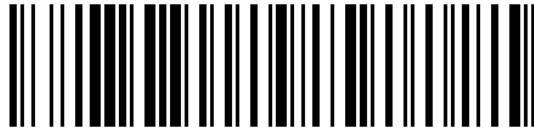
2 電源管理

2.1 スリープ時間を読み取る



スリープ時間を読み取る

2.2 スリープ時間を設定する



今すぐ冬眠します



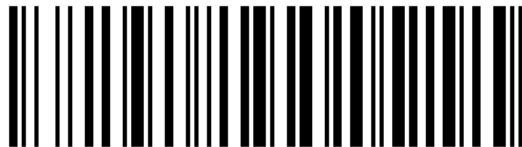
1 分後に寝る



3 分後にスリープ (既定)



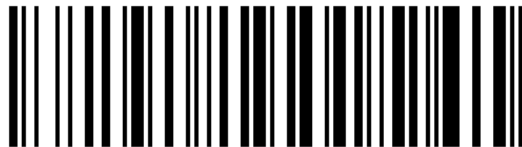
5 分後に寝る



10 分後に寝る



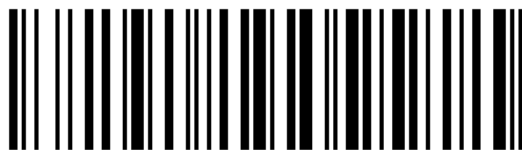
30 分後に寝る



1 時間後に寝る



2 時間後に寝る



決して眠らないでください

2.3 バーコードリーダーのバッテリー残量を取得する



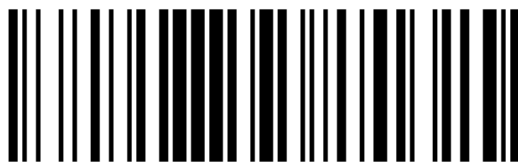
バッテリー残量を取得する

3 通知設定

3.1 ブザー制御



ミュート



* 大音量



中程度の音量



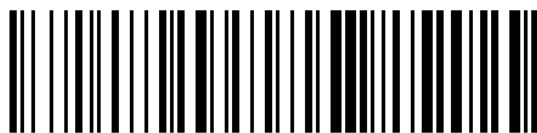
小さい音量



* 高音



低音



* SDK 音声応答が無効になっています



SDK 音声応答の有効化

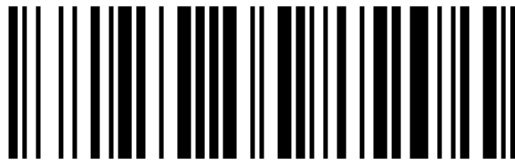


ベース接続ブザー通知の有効/無効

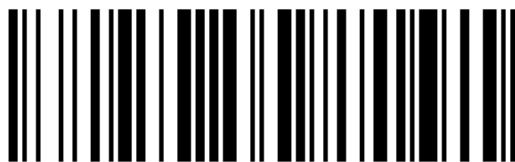
3.2 振動モーター制御

注釈

振動モーターはビープ音とともに動作しますが、すべてのモデルがこの機能をサポートしているわけではありません。



無効にする



有効にする

3.3 ブザー音の定義

タイプ	音	意味	試聴
ビープ	ワントーン（ツートーン）	ストレージモードの読み取り。シャットダウンプロンプト。	ストレージモードでの読み取り storage-mode.m4a 電源オフ shutdown.m4a
ビープ	1 音（3 音）	電源投入時のプロンプト。設定は成功しました。アップロードモード転送完了プロンプト。	電源オン startup.m4a 設定成功 wireless-setting.m4a
ビープ	短い音（同じ音）	バーコード読み取り成功プロンプト。	バーコード読み取り成功 one-beeps.m4a
ビープ	30 秒間の連続した短いトーン	2.4G ペアリングモードは、レシーバーが挿入されるのを待ちます。ペアリングが成功すると停止します。	2.4G ペアリング pair2.4G.m4a
アラーム音	2 トーン（同トーン）	読み取り中の電力不足アラーム。	バッテリー残量低下 two-beeps.m4a
アラーム音	3 音（同音）	インベントリモードストレージエラーまたはストレージ容量超過アラーム。	ストレージエラーまたは容量超過 three-beeps.m4a
アラーム音	送信失敗音	バーコードの送信が失敗した場合にアラームを鳴らします。	まだ音声がありません
アラーム音	5 音（同音）	バッテリー残量が少ないと起動障害が発生します。	バッテリー残量低下による起動失敗 five-beeps.m4a

3.4 インジケータースタイルの定義

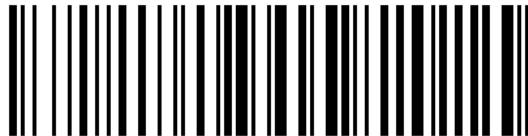
インジケータースタイル	州
赤信号/緑信号	充電中は赤色のライトが点灯し、緑色のライトが消灯します。完全に充電されると、赤色のライトが消え、緑色のライトが点灯します。
ブルーライト	ブザー動作に続き、ブザーが鳴ると点灯、鳴らないと消灯します。Bluetooth モードをサポートするモデルは、Bluetooth 接続ステータスを示すためにも使用されます。

4 有線モード

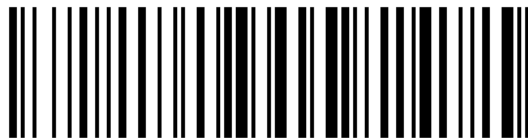
注釈

有線伝送をサポートするバーコードリーダーにのみ適用されます。

4.1 USB 伝送方式



* USB キーボードモード



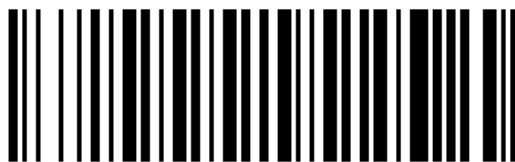
USB 仮想シリアルポートモード

注釈

自動インターフェイス選択を有効にすると、デバイスは有線と無線の間で自動的に切り替わります。USB ケーブルが接続されている場合、有線モードが最初に使用されます。USB ケーブルが接続されていない場合、または USB が利用できない場合、バーコードリーダーは 2.4G モードで動作します。一部のモデルではこの機能をサポートしていない場合があります。



* 有線/無線自動選択が有効です



有線/無線自動選択無効

4.2 USB キーボードの送信速度

注釈

この設定は、RF、超長いバーコードの Bluetooth 送信、およびストレージデータのアップロードの速度にも影響します。



* 最高速度



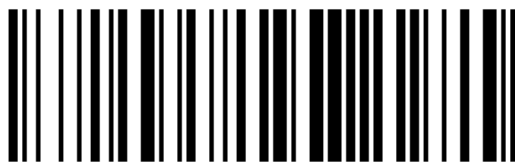
トップスピード



中速



中速



キーボードの読み取り速度



キーボードの読み取り速度

4.3 USB HID マルチキー送信設定

i 注釈

このセクションの設定は、Windows システムにのみ適用されます。



USB HID マルチキー送信有効



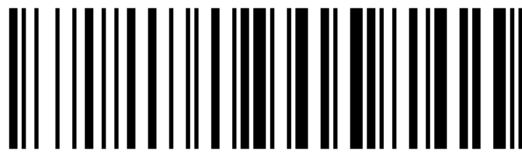
* USB HID マルチキー送信は無効です

5 無線モード

i 注釈

2.4G 送信をサポートするバーコードリーダーにのみ適用されます。

5.1 インターフェイス設定の読み取り



現在のインターフェース設定

5.2 無線伝送方式

注釈

青いライトは常に点灯または点滅し、現在のモードが Bluetooth であることを示します。青いライトが消えている場合は、現在のモードが 2.4G モードまたは USB 有線モードであることを示します。



2.4G 送信モード

5.3 2.4G ペアリング

重要

ワイヤレス 2.4G モードでのみ有効です。



1 対 1 のペアリング



1 対多ペアリング

5.4 受信機の動作モード

i 注釈

コンポジットデバイスモードは、FWVerL 以降の受信機でのみ使用できます。ReceiverAddress.exe を使用してペアリングバーコードを生成し、それをスキャンしてペアリングを完了することもできます。



複合デバイスとしての受信機



仮想シリアルポートとしてのレシーバー

i 注釈

このモードでは、仮想シリアルポートドライバーをインストールする必要があります。



キーボードとしての受信機

受信機キーボードの通信速度

i 注釈

このセクションの手順は、FWVerL 以降の受信機にのみ適用されます。バーコードリーダーと受信機の送信速度が一致している必要があります。一致しないと、長いバーコードを送信するときにエラーが発生する可能性があります。

ⓘ 重要

このコマンドはワイヤレス 2.4G モードでのみ有効で、受信機は正常に接続されています。



キーボードの読み取り速度

i 例

KB SP=2,4 は、USB のキーボード速度が 2ms、受信機のキーボード速度が 4ms であることを意味します。



レシーバーキーボード高速



レシーバーキーボード中速



レシーバーキーボード低速

i 注釈

無線 2.4G モードでのみ有効で、受信側は正常に受信します。

5.5 2.4G 送信キャッシュ

i 注釈

このコマンドは、この機能をサポートする一部のバーコードリーダーにのみ適用されます。設定コードをスキャンした後、2 回の短いビープ音が無効を示し、1 回の 3 音ビープ音が有効を示します。

通常のバーコードをスキャンする場合、バーコードのデータ量が多くスキャン間隔が短く、データのアップロードが間に合わない場合に、この設定コードを使用してデータのキャッシュを有効または無効にすることができます。



SRAM キャッシュの有効/無効

通常モードでは、データキャッシュを有効にした後、デバイスが一時的に通信距離を離れてオフライン状態になった場合、この設定を使用して、キャッシュされたデータをアップロードする前に接続を待つか、キャッシュされたデータをクリアするかを選択できます。



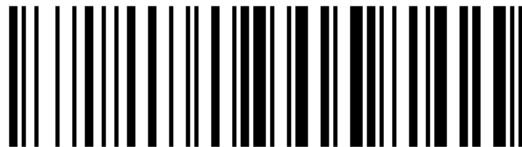
オフラインキャッシュの有効/無効

6 Bluetooth モード

注釈

Bluetooth 機能を備えた RF+BT バーコードリーダーにのみ適用されます。

6.1 インターフェイス設定の読み取り



現在のインターフェース設定

6.2 Bluetooth 送信方法

注釈

青いライトは常に点灯または点滅し、現在のモードが Bluetooth であることを示します。青いライトが消えている場合は、現在のモードが 2.4G モードまたは USB 有線モードであることを示します。



Bluetooth 送信

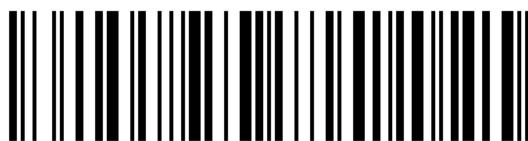
6.3 Bluetooth 動作モード

注釈

Bluetooth モードでのみ有効です。

注釈

Bluetooth 動作モードを切り替える前に、ホストとバーコードリーダーの両端のペアリング情報をクリアする必要があります。



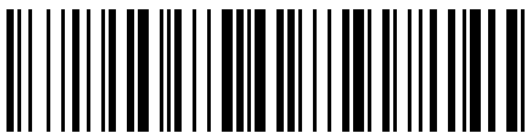
Bluetooth HID キーボード (既定)



Bluetooth SPP シリアルポート



Bluetooth BLE シリアルポート



Bluetooth 基本送信モード

i 注釈

すでにペアリングされている Bluetooth ベースとのペアリングに適しています。ベースのバーコードが破損している場合は、小さなツール BluetoothAddress.exe を使用してペアリングバーコードを生成することもできます。

6.4 Bluetooth 名の変更

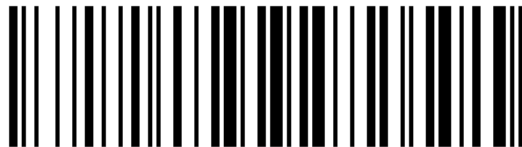
新しい Bluetooth 名を入力したら、生成された QR コードをスキャンして設定を完了します。ホストが変更後に古いペアリング記録を保存している場合は、まず古いペアリングを削除して、接続を再度検索してください。

HTML の対話型ツールを使用できない場合は、このセクションの説明に従ってプレースホルダーを置き換え、コマンドを確認してください。

AT+NAME=<bluetooth-name>

6.5 Bluetooth HID ペアリングをクリアする

Bluetooth 送信モードで「ペアリングのクリア」をスキャンした後、バーコードリーダーは現在ペアリングされているデバイスを切断し、ペアリングリストをクリアしてから、新しいデバイスのペアリングを待ちます。過去にペアリングしたデバイスを削除し、再度ペアリングする必要があります。



Bluetooth ペアリングをクリアする

6.6 システムキーボードの機能

iOS システムのポップアップキーボード機能



iOS キーボードのポップアップ/非表示



トリガーボタンを 4 秒間長押しすると、iOS キーボードスイッチがポップアップします。



トリガーボタンをダブルクリックして、iOS キーボードスイッチをポップアップ表示します。



送信後に iOS キーボードスイッチをポップアップ表示する

Windows Caps Lock の検出

注釈

このコマンドは、一部の Bluetooth バーコードリーダーにのみ適用されます。設定コードをスキャンした後、2 回の短いビープ音が無効を示し、1 回の 3 音ビープ音が有効を示します。



Windows Caps Lock 検出の有効/無効

6.7 Bluetooth と 2.4G を 8 秒間押し続けると切り替わります。

注釈

このコマンドは一部の RF+BT バーコードリーダー (DS、C、RT) にのみ適用されます。有効にした後、トリガーボタンを 8 秒以上押し続け、放すと RF/BT が切り替わります。16

秒以上押し続けると、バーコードリーダーがシャットダウンし、モードは切り替わりません。設定コードをスキャンした後、2 回の短いビープ音が無効を示し、1 回の 3 音ビープ音が有効を示します。



トリガーボタンを 8 秒間押し続けると、RF/BT スイッチが切り替わります。

6.8 Bluetooth キーボードの送信速度

注釈

Bluetooth モードでのみ有効です。



Bluetooth HID 遅延の読み取り



高速 (2ms)



高速 (6ms)



* 中速 (10 ミリ秒)



中速 (18ms)



低速 (25ms)



低速 (30ms)

6.9 Bluetooth 接続ステータスがスリープ設定にならない

注釈

設定コードをスキャンした後、2 回の短いビープ音が無効を示し、1 回の 3 音ビープ音が有効を示します。



Bluetooth 接続ステータス非スリープの有効/無効

7 キーボード設定

7.1 HID Keyboard General Setting

HID 共通設定

i 注釈

本項の HID 共通設定は、USB キーボード、RF 2.4G キーボード、および Bluetooth HID キーボードの各モードに適用されます。

Ctrl キーの組み合わせの設定



* 結合キーオフ



Ctrl+ Key Config1



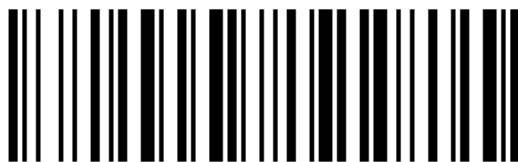
Alt+ Key Config2



Normal-Key Config3



Ctrl+ Key Config4



Alt+ Key Config5

i 注釈

only for ASCII <0x20 chars, Alt+ key only for Windows system.

ケースの設定



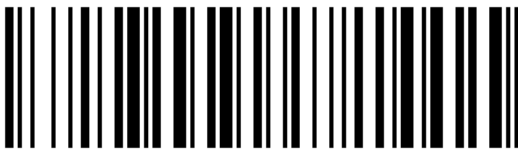
普通



スワップケース



すべて大文字



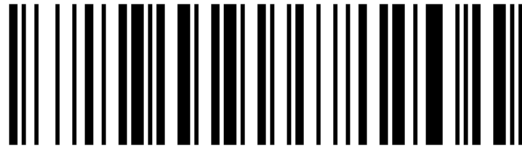
すべて小文字

キーボード言語を ALT または TH に設定している場合、大文字/小文字変換は適用されません。

Num Lock の設定



Num Lock が無効になりました



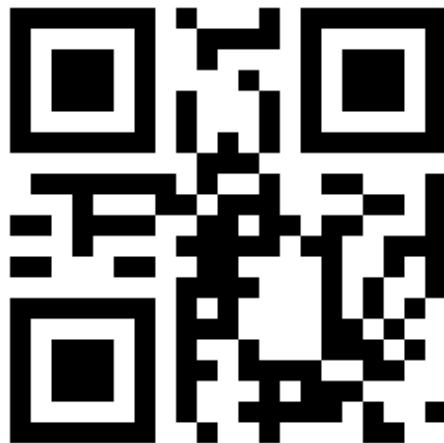
Num Lock が有効になりました

※ 受信端末が携帯電話の場合、Num Lock の設定をオフにしておかないと番号が表示されません。

文字セット設定を入力します

i 注釈

この設定は、特定のモジュールの 2D バーコードリーダーにのみ適用され、2D モジュールの出力文字セットと一致します。



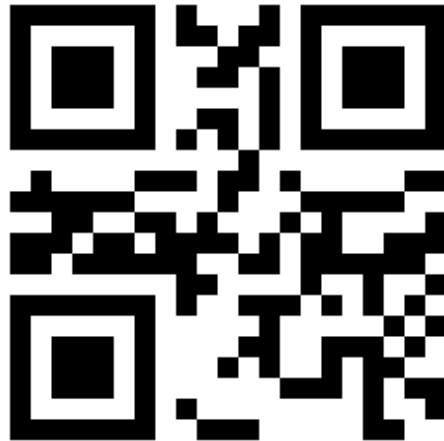
現在の文字セット設定を読み取る



自動



GBK / BIG5 / HANGUL / SJIS



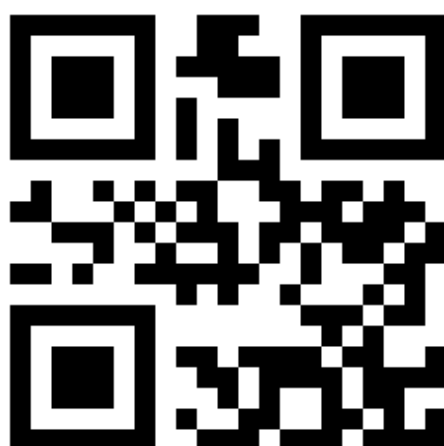
ISO/IEC 8859



UTF8 (ワード)



UTF8 (送信)



ノーマルモード

例証します:

モデル	該当するシナリオ	読取モジュールの出力文字セット	限界
Auto	入力文字セットを UTF8 または ISO/IEC 8859 として自動的に選択します。Word または Txt 出力は、最後の UTF8 設定に基づいています。	プリミティブ型	なし
GBK	Windows のメモ帳、Excel の中国語入力。	GBK (GB2312) またはオリジナルのタイプ	Windows システムのみに適用されます。
UTF8 (Word)	Word、QQ 中国語入力。	UTF8 またはプリミティブ型	Windows システムのみに適用されます。
ISO/IEC 8859	ヨーロッパのシングルバイト特殊文字 (>= C0H)。FR、GE、TR、PT、ES、CS、IT、UK、HU、SK に適しています。	プリミティブ型	リストにない言語はカスタマイズで追加する必要があります。
UTF8 (Txt)	Windows のメモ帳で特殊文字を入力するには、Unicode プラグインをインストールする必要があります。	UTF8 またはプリミティブ型	Windows システムのみに適用されます。
Normal	FR、GE、TR、PT、ES、CS、IT、UK、HU、SK キーボードの文字に適した多言語特殊文字。	UTF8 またはプリミティブ型	リストにない言語はカスタマイズで追加する必要があります。

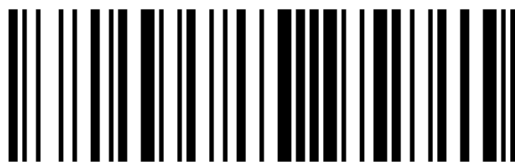
受信デバイスの選択

注釈

本項では、ホストデバイスごとに ASCII 文字 (0x20~0x7F) を入力する方法を設定します。キーボードレイアウト設定と組み合わせて使用してください。



現在の受信デバイス設定を読み取る



Windows デバイス



iPhone/iPad/Mac デバイス



Android デバイス

*IOS/MAC デバイスは現在有効です: FR、DE、TR、PT、ES、CS、IT、UK、HU、SK。ドキュメント「バーコードスキャナー用の MAC iPhone iPad キーボードレイアウト.docx」を参照してください。

※Android 端末には Google Gboard 入力方式を一律にインストールすることを推奨します。「バーコードスキャナー用 Android デバイスのキーボードレイアウト.docx」ドキュメントを参照してください。

7.2 キーボードの言語設定

➡ 参考

キーボード言語設定は独立したページに分割されています: [キーボード言語設定](#)。

8 キーボード言語

8.1 現在のキーボードレイアウトを読み取る



現在のキーボードレイアウトを読み取る

L1 *ENUSA アメリカ EN キー



* 米国英語キーボード

L2 FR フランスフランス語キー



フランス語フランス語キーボード

L3 DE ドイツドイツキー



ドイツ語ドイツ語キーボード

L4 ITItaly イタリアキー



イタリア語キーボード

L5 PT ポルトガルキー



ポルトガル語キーボード

L6 ES スペインスペインキー



スペイン語キーボード

L7 TR トウルキエトルコキー



トルコ語 Q キーボード



トルコ語 F キーボード

L8 ENUK 英国キー



イギリス英語キーボード

L9 CS チェコ語チェコ語キー



チェコ語キーボード



チェコ語の標準キーボード

L10 HU ハンガリーハンガリーキー



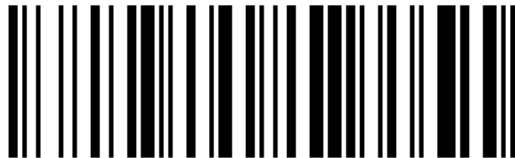
ハンガリー語キーボード

L11 FR ベルギー (フランス語) ベルギー FR キー



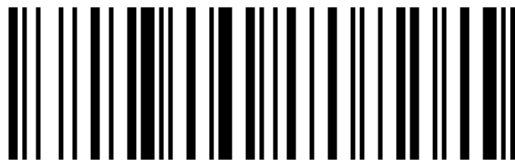
ベルギーフランス語キーボード

L12 PT ブラジル (ポルトガル語) ブラジル PT キー



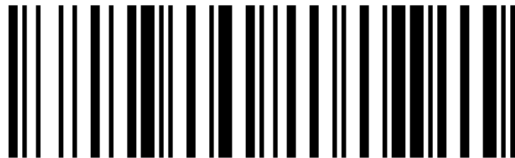
ブラジル系ポルトガル語キーボード

L13 FR カナダ語フランス語 (繁体字) カナダ語 FR キー



カナダフランス語 (繁体字) キーボード

L14 HR クロアチアキー



クロアチア語キーボード

L15 SK スロバキアスロバキアキー



スロバキア語 QWERTY キーボード



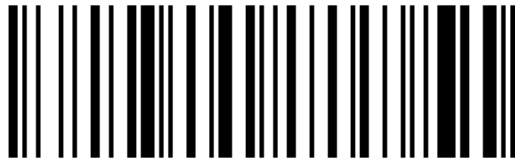
スロバキア語キーボード

L16 DA デンマークデンマークキー



デンマーク語キーボード

L17 FIFINLAND キー



フィンランド語キーボード

L18 ES ラテンアメリカ (スペイン語) ラテンアメリカ ES キー



ラテンアメリカスペイン語キーボード

L19 NL オランダオランダキー



オランダ語キーボード

L20 ノルウェーノルウェーキー



ノルウェー語キーボード

L21 PL ポーランドポーランドキー



ポーランド語キーボード

L22 SR セルビア (ラテン) セルビアキー



セルビア語ラテン語キーボード

L23 SL スロベニアキー



スロベニア語キーボード

L24 SVSweden スウェーデンキー



スウェーデン語キーボード

L25 DE スイス (ドイツ語) スイス DE キー



スイスドイツ語キーボード

L26 JP 日本語日本語キー



日本語キーボード

L27 TH タイタイキー

注釈

タイ語キーボードを使用する場合、読取モジュールも TH 出力に設定する必要があります。



タイ語キーボード

参考

参照ファイル: RF2.4G、藍牙設置 _ 中文、泰語、韩语.docx。

L28 ALT インターナショナルキーボード ALT グローバルキー

注釈

ALT インターナショナルキーボードは Windows システムにのみ適用され、ホストのキーボード設定の影響を受けませんが、転送速度が低下します。



ALT インターナショナルキーボード

L29 ALT シングルバイト特殊キーボード ALT シングルバイト特殊キー



ALT 半角特殊文字キーボード

注釈

このセクションに記載されていない言語をサポートするにはカスタマイズする必要があります。

9 データ編集

9.1 標準データ編集設定

このセクションでは、設定コードを使用して、プレフィックス、サフィックス、非表示文字などの一般的な出力ルールを設定する方法を説明します。

プレフィックス、サフィックス、隠し文字の設定

最大 10 個のプレフィックスまたは 10 個のサフィックスを出力データに追加できます。設定する場合は、ASCII 値に対応する 2 桁の 16 進数の設定コード (つまり 2 つのバーコード) をスキャンしてください。

参考

文字値については、[ASCII ファンクションキー文字比較表](#) および [ASCII 文字比較表](#) を参照してください。値の入力が必要なパラメータについては、[数字設定コード](#) をスキャンしてください。具体的な手順については、「[プレフィックスまたはサフィックスの追加ステップ](#)」を参照してください。

バーコードの最初、中間、または最後の文字を非表示にするように設定できます。対応する非表示設定コードをスキャンした後、非表示にする文字の長さに対応する 2 桁の 16 進数の設定コードをスキャンします (00 ~ FF、たとえば 4 文字を非表示にする場合は、0、4 を順にスキャンします)。

➡ 参考

文字を非表示にするプロセスについては、バーコードの最初/中間/末尾の文字を非表示にする手順を参照してください。

オペコード



プレフィックスを追加する



接尾語を追加



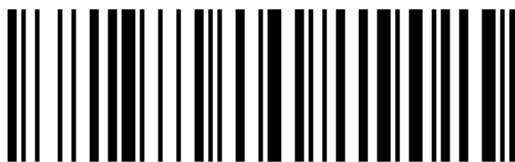
すべてのプレフィックスをクリアする



すべてのサフィックスをクリア



最初のバーコードの文字数を非表示にする



バーコード中央の開始桁を非表示にします



バーコードの途中の文字数を非表示にする



バーコードの末尾の文字数を非表示にする

数字設定コード

指定値が必要なパラメータについては、対応する数字設定コードをスキャンしてください。



数字設定コード 0



数字設定コード 1



数字設定コード 2



数字設定コード 3



数字設定コード 4



数字設定コード 5



数字設定コード 6



数字設定コード 7



数字設定コード 8



数字設定コード 9



数字設定コード A



数字設定コード B



数字設定コード C



数字設定コード D



数字設定コード E



数字設定コード F

出力形式の設定

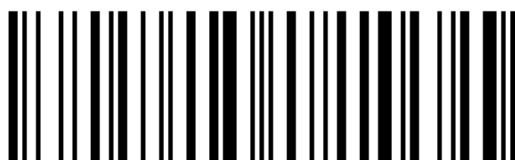
出力データ形式を変更する必要がある場合は、以下の対応する設定コードをスキャンしてください。



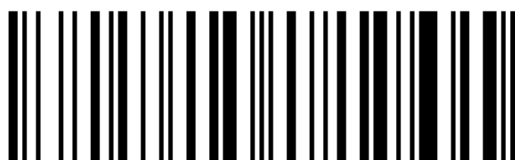
既定の出力形式



出力サフィックスを許可する



出力プレフィックスを許可する



バーコードヘッダーコンテンツを非表示にすることができます



バーコードの中央のコンテンツを非表示にすることができます



バーコード末尾のコンテンツを非表示にすることができます

手順例

プレフィックスまたはサフィックスの追加ステップ

1. プレフィックスとサフィックスの出力が有効になっていない場合は、まず対応する出力フォーマットコードをスキャンしてください。
2. 新しい文字は、既存のプレフィックスまたはサフィックスの後に追加されます。既存のプレフィックス/サフィックスを破棄する場合は、先に「すべてのプレフィックス/サフィックスを消去」設定コードを読み取り、その後で設定し直してください。
3. 「プレフィックスの追加」または「サフィックスの追加」設定コードをスキャンします。
4. [ASCII ファンクションキー文字比較表](#) または [ASCII 文字比較表](#) に基づいて、入力するプレフィックスまたはサフィックスに対応する 16 進値を決定します。
5. 対応する 2 桁の 16 進数設定コードをスキャンします。
6. 文字を追加し続ける場合は、手順 4 と 5 を繰り返します。

i 例

プレフィックスとして **Ctrl+A** を追加する必要がある場合は、「プレフィックスの追加」「9」「7」「4」「1」を順にスキャンします。

i 例

Ctrl+Alt+A をサフィックスとして追加する必要がある場合は、「サフィックスの追加」「9」「7」「9」「9」「4」「1」を順にスキャンします。

バーコードの最初/中間/末尾の文字を非表示にする手順

1. バーコードのヘッダー、中間の開始ビット、中間の長さ、または末尾の文字を非表示にする設定コードをスキャンします。
2. 非表示にする文字の長さに対応する 16 進値を決定します (たとえば、4 文字を非表示にする場合は、0、4 をスキャンします。12 文字を非表示にする場合は、0、C をスキャンします)。
3. 対応する 2 桁の 16 進数設定コードをスキャンします。
4. 出力書式設定コードを通じて隠し文字機能を有効または無効にします。

9.2 拡張データ編集設定

このセクションでは、完全なコマンドからデータ編集設定コードを一度に生成できます。一括設定、リモートでのシリアルコマンド送信、または文字置換が必要な場合に適しています。

ワンコード設定オンライン生成ツール

注釈

オンライン生成ツールは HTML マニュアルでのみ表示されます。設定コードを生成した後、生成されたバーコードを直接スキャンして設定を完了できます。また、下記のコマンド形式でシリアルコマンドとして送信することもできます。

プレフィックスを追加する

HTML の対話型ツールを使用できない場合は、このセクションの説明に従ってプレースホルダーを置き換え、コマンドを確認してください。

\$DATA#20<length-hex><content>#

接尾語を追加

HTML の対話型ツールを使用できない場合は、このセクションの説明に従ってプレースホルダーを置き換え、コマンドを確認してください。

\$DATA#10<length-hex><content>#

バーコード先頭文字を非表示

HTML の対話型ツールを使用できない場合は、このセクションの説明に従ってプレースホルダーを置き換え、コマンドを確認してください。

\$DATA#50<length-hex>#

バーコード中央文字を非表示

HTML の対話型ツールを使用できない場合は、このセクションの説明に従ってプレースホルダーを置き換え、コマンドを確認してください。

\$DATA#40<position-hex><length-hex>#

バーコード末尾文字を非表示

HTML の対話型ツールを使用できない場合は、このセクションの説明に従ってプレースホルダーを置き換え、コマンドを確認してください。

\$DATA#30<length-hex>#

文字置換

HTML の対話型ツールを使用できない場合は、このセクションの説明に従ってプレースホルダーを置き換え、コマンドを確認してください。

\$DATA#70<source-length-hex><source><target-length-hex><target>#

ワンコード設定コマンド形式

編集形式:

\$DATA#ncllxx#

n

1 サフィックス。2 プレフィックス。3 は、バーコードの末尾の内容を非表示にします。4 は、バーコードの中央のコンテンツを非表示にします。5 は、バーコードの最初のコンテンツを非表示にします。7 は文字を置き換えます。

c

Code ID は、現在、すべてのシンボル体系を示す 0 のみをサポートしています。

ll

長さ、16 進値: 接頭辞と接尾辞 01~0A、01~FF を非表示、01~05 を置き換えます。

xx

ASCII 値。16 進数は、\x に 2 文字を加えたもので表現でき、文字の範囲は 0~9、A~F です。

表 1: ワンコード設定例

注文	意味
\$DATA#1005abcd\x03#	0x05 サフィックスを追加します: abcd + 0x03。
\$DATA#200ANETUM12345#	0x0A プレフィックス NETUM12345 を追加します。
\$DATA#3008#	バーコードの末尾にある 0x08 文字を非表示にします。
\$DATA#40050A#	バーコード内の 0x05 文字の後の 0x0A 文字を非表示にします。
\$DATA#5011#	バーコードヘッダー 0x11 バイトを非表示にします。
\$DATA#7001\x1D02GS#	GS (0x1D) 文字を GS に置き換えます。
\$DATA#7002NT01Z#	NT を Z に置き換えます。

文字置換操作

形式: \$DATA#70 + 置換対象文字列の長さ + 置換対象文字列 + 置換後データの長さ + 置換後データ #

置換される文字と置換される文字の長さの合計は 6 以下で、1~6 文字が 5~0 文字に置換されることがサポートされます。



置換設定の読み取り



置換設定をクリアする

i 例

\$DATA#7001\x1D02GS# は、表示不可能な文字 GS (0x1D) を GS に置き換えて表示することを意味します。



文字置換操作: GS からテキスト GS へ

i 例

\$DATA#7001\x0A01\x0D# は、LF (0x0A) を CR (0x0D) に置き換えることを意味します。



文字置換操作: LF から CR

i 例

\$DATA#7006ABCDEF00# は、文字列 ABCDEF を何も置き換えない、つまり表示しないことを意味します。

9.3 端末文字設定

i 注釈

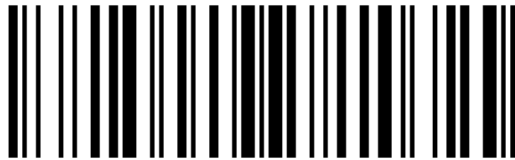
この終端文字は、デコードモジュールのサフィックスやワイヤレスサフィックスから独立しているため、デコードモジュールにサフィックスがない場合でも、迅速な設定が容易になります。



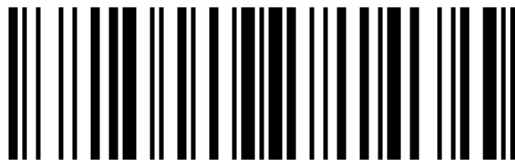
なし (既定)



CR を入力してください



タブ文字 TAB



キャリッジリターンとラインフィード CRLF



改行 LF

9.4 GS1 AI フィールドブラケット設定

注釈

一部の AI フィールドのみが適用され、特別なバージョンのサポートが必要です。



生の形式 (既定)



括弧を追加する



括弧を追加し、CR で区切ります。



括弧を追加し、TAB で区切ります

10 読取モード

10.1 バーコード読取モード



キースキャンモード（既定）



連続スキャンモード

i 注釈

連続スキャンモードは、宅配便などでバーコードを連続して読み取る用途に適しています。Trigger ボタンを 1 回押すと、読取を開始または停止します。



キーパルススキャンモード

i 注釈

キーレベルの変化を検出すると読み取りを開始し（約 30ms 保持）、再度キーレベルの変化を検出すると読み取りを終了します。読み取りが成功するかタイムアウトになると、読み取りは終了します。



ホストトリガーモード（一部のカスタム機種のみ）

i 注釈

ホストトリガーモードは、一部のカスタム機種でのみ使用できます。



バッチスキャンモード（一部のカスタム機種のみ）

デコードタイムアウト

このパラメータでは、1 回のスキャン試行でデコード処理を継続する最大時間を設定します。4 桁のミリ秒値を入力します。既定値：3000 ms、範囲：0500～9999 ms。



3 秒（既定）



6 秒

インターバル時間

このパラメータでは、連続モードにおける読み取り間隔を設定します。4 桁のミリ秒値を入力します。既定値：0500 ms、範囲：0100～9999 ms。



0.5 秒（既定）



1 秒

11 読取モジュール設定



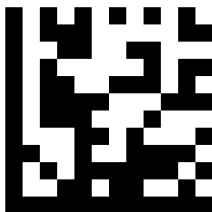
設定開始

11.1 デバイスの機能設定

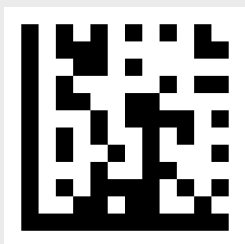
重要

このページの設定は全て「設定開始 → 機能設定コード → 設定終了」で実行されます。

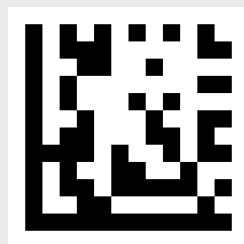
照準ライト



スキャン時に有効にする

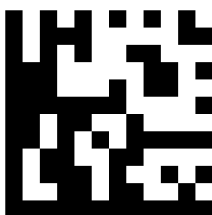


* 常に有効

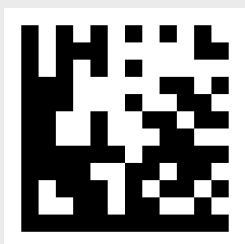


無効にする

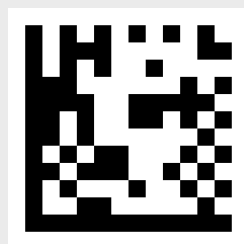
補助光動作モード



* スキャン時に有効になります



常に有効



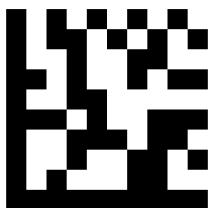
無効にする



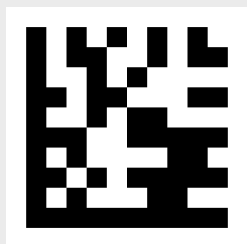


設定開始

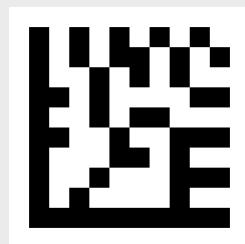
補助光の強度



* 高輝度



中輝度



低輝度

11.2 トリガー設定



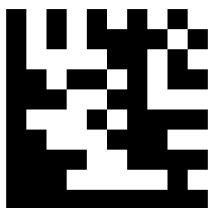
重要

このページの設定は全て「設定開始 → 機能設定コード → 設定終了」で実行されます。

スキャンモード

トリガーされたレベル

スキャンキーを押している間スキャンを行い、デコードが完了するか読み取り時間を超えると終了します。

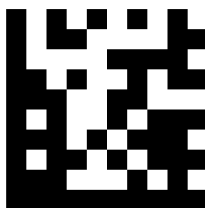


* レベルトリガー

自動誘導

画像が変化したらスキャンを開始し、読み取り時間が経過すると終了します





自動誘導

連続スキャン

1つ以上のバーコードを連続して読み取ります。スキャンボタンを押して放すと、読み取りを開始または終了します。同じバーコードの再読み取りは、同一コード遅延の設定によって制御されます。



連続スキャン

同じバーコードを読み取る

この機能に対応する読取モードでは、同じバーコードを繰り返し読み取る方法を設定できます。

注釈

既定では、同じバーコードを 500 ms 以内に再読み取りしません。同一コード遅延は 0~5000 ms に設定でき、0 を指定すると遅延が無効になります。

読み取りを制限する

制限時間内に同じバーコードを連続して読み取った場合、バーコードは無視されて出力されず、タイマーが再スタートします。

インターバル読み取り

一定間隔内で同じバーコードを連続して読み取った場合、そのバーコードは無視され出力されません。間隔を超えると再度出力されます。

同じバーコードを読み込まないでください

同じバーコードを繰り返し読み取ることはありません。

設定例：100 ミリ秒以内に繰り返し読み取った同じバーコードを出力しない

1. 「セットアップの開始」をスキャンします。
2. 「読み取り制限」設定コードをスキャンします。



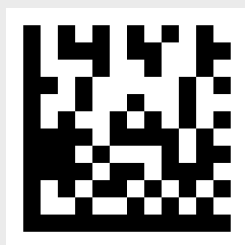


設定開始

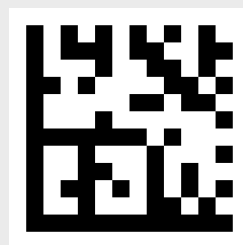
3. 「同一コード遅延」設定コードを読み取ります。
4. 10進数内の1設定コードをスキャンします。
5. 10進数内の0設定コードをスキャンします。
6. 10進数内の0設定コードをスキャンします。
7. 「セットアップの終了」をスキャンします。

i 設定例：1秒間隔で同じコードを読み込む

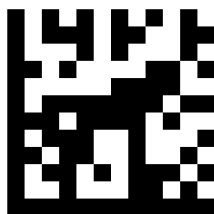
1. 「セットアップの開始」をスキャンします。
2. 「インターバル読み取り」設定コードを読み取ります。
3. 「同一コード遅延」設定コードを読み取ります。
4. 10進数内の1設定コードをスキャンします。
5. 10進数内の0設定コードをスキャンします。
6. 10進数内の0設定コードをスキャンします。
7. 10進数内の0設定コードをスキャンします。
8. 「セットアップの終了」をスキャンします。



* 読み取りを制限する



インターバル読み取り

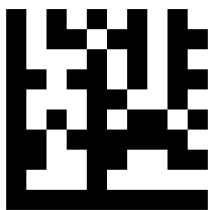


同じバーコードを読み込まないでください



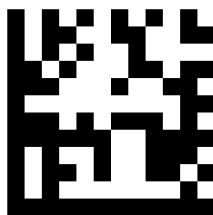


設定開始

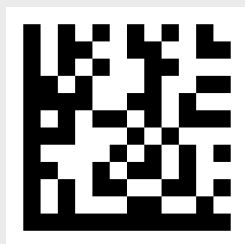


同一コード遅延 (ms)

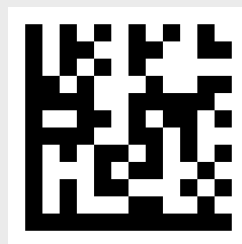
自動検知感度



感度が低い



* 中感度



高感度

11.3 エンジン Code ID

重要

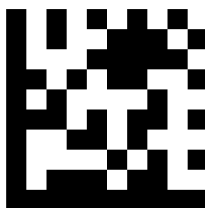
このページの設定は全て「設定開始 → 機能設定コード → 設定終了」で実行されます。

Code ID

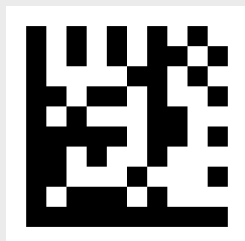




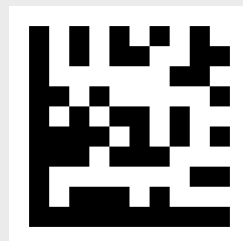
設定開始



* Code ID を無効にする



AIM Code ID を有効にする



NETUM Code ID を有効にする

Code ID 表

Symbology	NETUM	AIM
UPC-A	A	E
UPC-E	E	E
EAN-8	FF	E
EAN-13	F	E
Code 128	K	C
Code 39	M	A
Code 93	L	G
Code 32	M	A
Code 11	O	H
Codabar	N	F
Plessey	P	P
MSI / Plessey	a	M
Interleaved 2 of 5	I	I
IATA 2 of 5	Z	R
Matrix 2 of 5	G	X
Straight 2 of 5	S	S
Pharmacode	H	X
GS1 DataBar 14	RS	e
GS1 DataBar Expanded	RX	e
GS1 DataBar Limited	RL	e
Composite CC-A	m	e
Composite CC-B	n	e
Composite CC-C	i	e
PDF417	r	L
MicroPDF417	s	L
Data Matrix	t	d

次のページに続く





設定開始

表 2 - 前のページからの続き

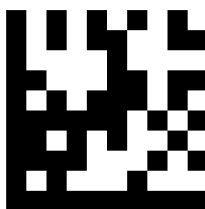
Symbology	NETUM	AIM
QR Code	u	Q
Micro QR	j	Q
Aztec	e	Z
MaxiCode	v	U

11.4 エンジン出力フォーマット

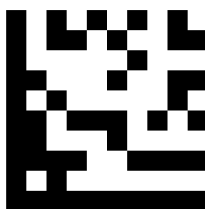
重要

このページの設定は全て「設定開始 → 機能設定コード → 設定終了」で実行されます。

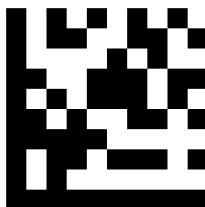
終端文字



なし

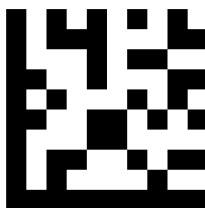


* / CR と入力してください



CR / LF





TAB

11.5 バーコード設定

重要

このページの設定は全て「設定開始 → 機能設定コード → 設定終了」で実行されます。

サポートシンボル体系

シンボル体系	州
UPC-A	* 有効にする
UPC-E	* 有効にする
EAN-8	* 有効にする
EAN-13	* 有効にする
Code 128 / GS1-128	* 有効にする
Code 39	* 有効にする
Code 93	* 有効にする
Code 32	無効にする
Code 11	無効にする
Codabar	* 有効にする
Plessey	無効にする
MSI Plessey	* 有効にする
Interleaved 2 of 5	* 有効にする
IATA 2 of 5	無効にする
Matrix 2 of 5	無効にする
Straight 2 of 5	無効にする
Pharmacode	無効にする
GS1 DataBar 14	* 有効にする
GS1 DataBar 14 Stacked	無効にする
GS1 DataBar Expanded	* 有効にする
GS1 DataBar Expanded Stacked	無効にする
GS1 DataBar Limited	* 有効にする
Composite Code-A	無効にする
Composite Code-B	無効にする
Composite Code-C	無効にする
PDF417	* 有効にする
MicroPDF417	* 有効にする
Data Matrix	* 有効にする
QR Code	* 有効にする

次のページに続く





設定開始

表 3 - 前のページからの続き

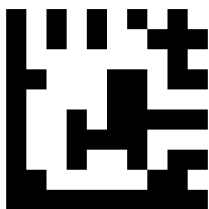
シンボル体系	州
Micro QR	* 有効にする
Aztec	無効にする
MaxiCode	無効にする

ユニバーサルコードの有効/無効

重要

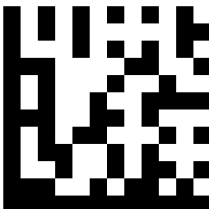
このグループの全ての設定は「設定開始 → 機能設定コード → 設定終了」で行います。

すべてのバーコードを開く



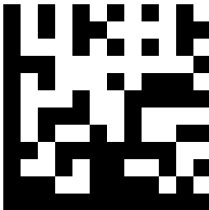
すべてのバーコードを開く

1D バーコードのみを有効にする



1D バーコードのみを有効にする

QR コードのみを有効にする



QR コードのみを有効にする





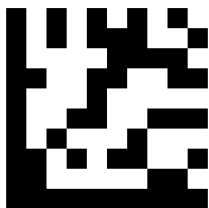
設定開始

1D バーコードの設定

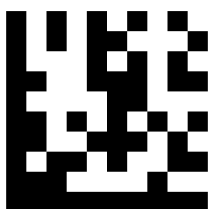
重要

このグループの全ての設定は「設定開始 → 機能設定コード → 設定終了」で行います。

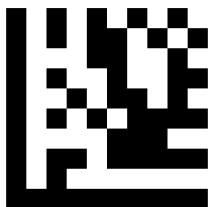
UPC-A



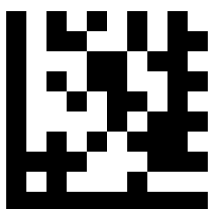
* UPC-A を有効にする



UPC-A を無効にする

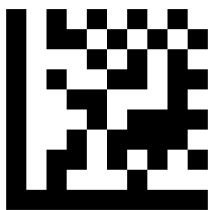


* 最初のビットを転送

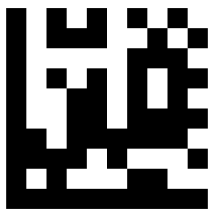


最初のビットを転送しない

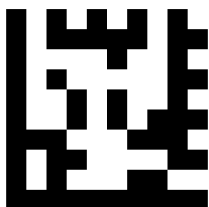




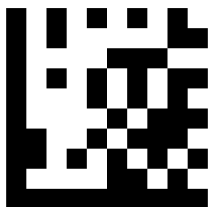
* チェックコードを有効にする



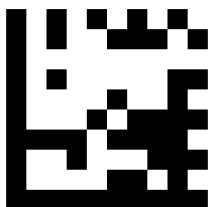
チェックサムを無効にする



EAN-13 変換を有効にする



* EAN-13 変換を無効にする

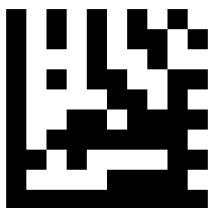


UPC-A の 2 桁または 5 桁の追加コードを有効にする

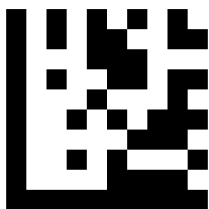




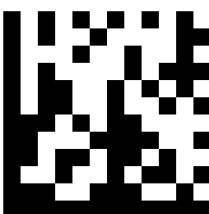
設定開始



* UPC-A の 2 桁または 5 桁の追加コードを無効にする

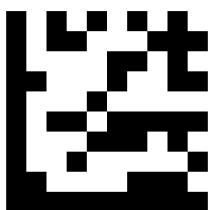


2 桁または 5 桁の追加コード付き UPC-A のみをデコードする

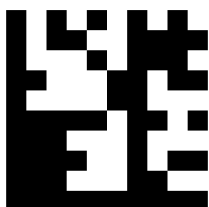


* 2 桁または 5 桁の追加コードの有無にかかわらず UPC-A をデコードする

UPC-E



* UPC-E を有効にする

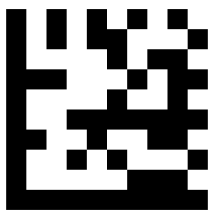


UPC-E を無効にする

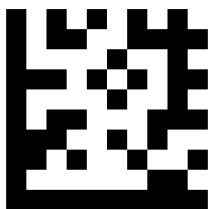




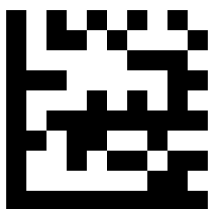
設定開始



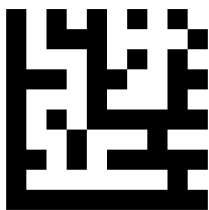
* 最初のビットを転送



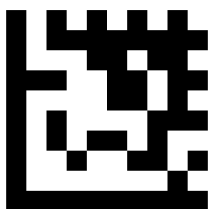
最初のビットを転送しない



* チェックコードを有効にする



チェックサムを無効にする

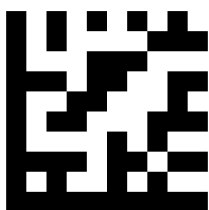


UPC-A 変換を有効にする

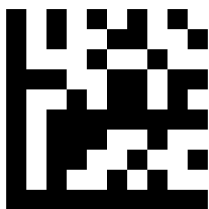




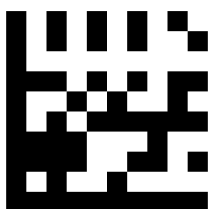
設定開始



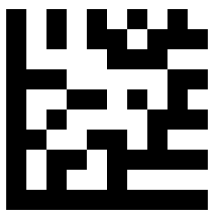
* UPC-A 変換を無効にする



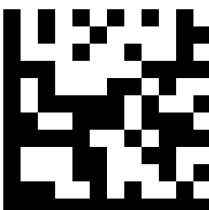
UPC-E の 2 桁または 5 桁の追加コードを有効にする



* UPC-E の 2 桁または 5 桁の追加コードを無効にする



2 桁または 5 桁の追加コード付き UPC-E のみをデコードする



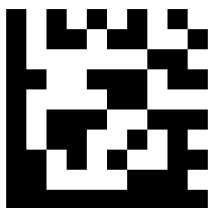
* 2 桁または 5 桁の追加コードの有無にかかわらず UPC-E をデコードする

EAN-8

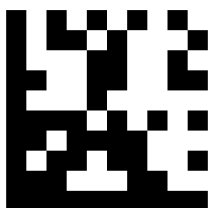




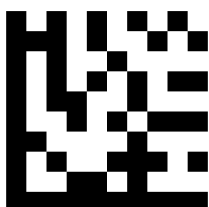
設定開始



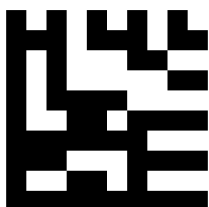
* EAN-8 を有効にする



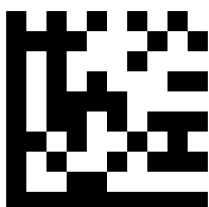
EAN-8 を無効にする



* 送信チェックデジット



チェックデジットが送信されませんでした

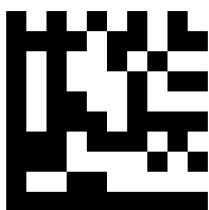


EAN-13 変換を有効にする

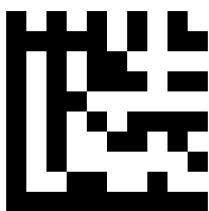




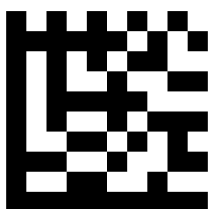
設定開始



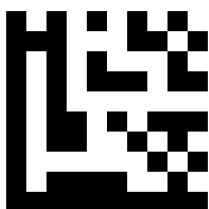
* EAN-13 変換を無効にする



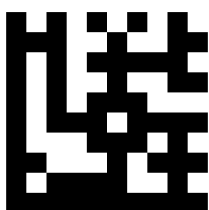
EAN-8 の 2 桁または 5 桁の追加コードを有効にする



* EAN-8 の 2 桁または 5 桁の追加コードを無効にする



2 桁または 5 桁の追加コード付き EAN-8 のみをデコードする



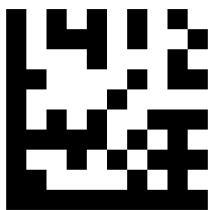
* 2 桁または 5 桁の追加コードの有無にかかわらず EAN-8 をデコードする

EAN-13

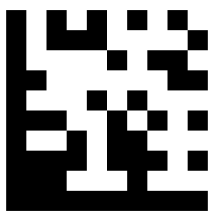




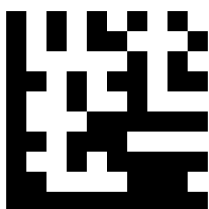
設定開始



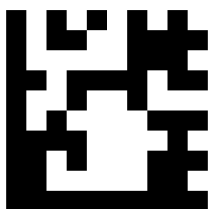
* EAN-13 を有効にする



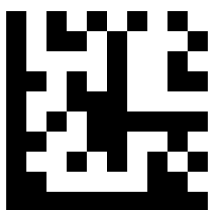
EAN-13 を無効にする



* 送信チェックデジット

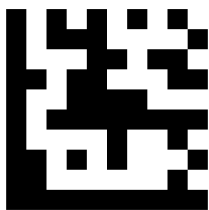


チェックデジットが送信されませんでした

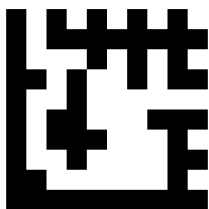


ISBN 翻訳を有効にする

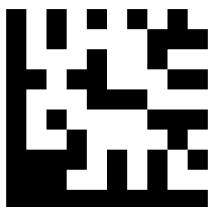




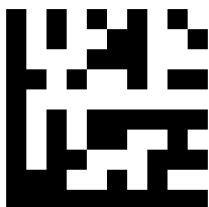
* ISBN 変換を無効にする



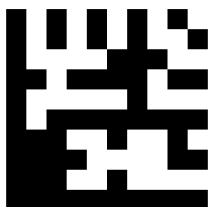
ISSN 翻訳を有効にする



* ISSN 変換を無効にする



EAN-13 の 2 桁または 5 桁の追加コードを有効にする

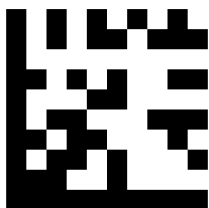


* EAN-13 の 2 桁または 5 桁の追加コードを無効にする

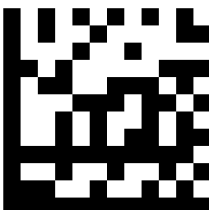




設定開始

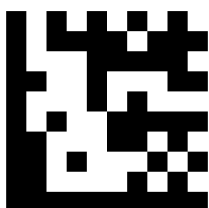


2桁または5桁の追加コード付き EAN-13 のみをデコードする

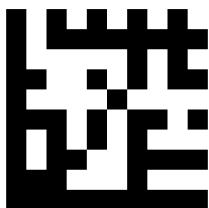


* 2桁または5桁の追加コードの有無にかかわらず EAN-13 をデコードする

Code 128 / GS1-128

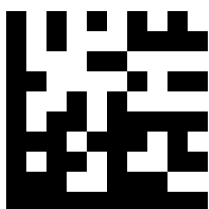


* Code 128 / GS1-128 を有効にする



Code 128 / GS1-128 を無効にする

Code 39

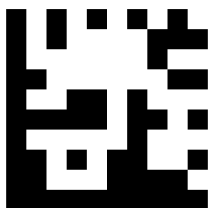


* Code 39 を有効にする

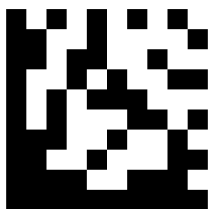




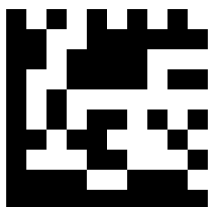
設定開始



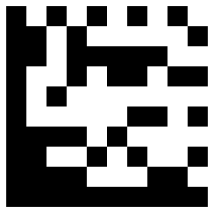
Code 39 を無効にする



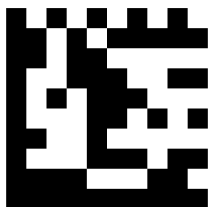
Code 39 Full ASCII 機能を有効にする



* Code 39 Full ASCII 機能を無効にする



スタート/ストップキャラクタを送信する

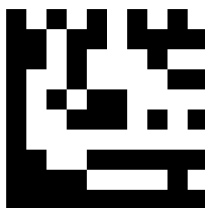


* スタート/ストップキャラクタを送信しない

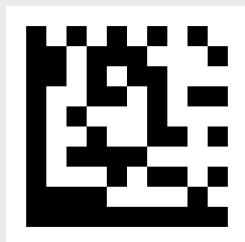




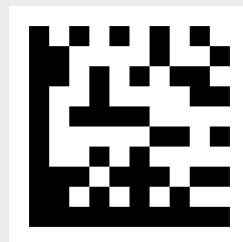
設定開始



* 検証なし



確認して送信する

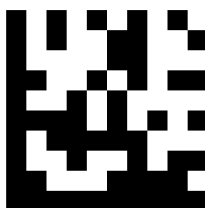


認証が送信されない

Code 93

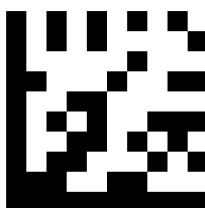


Code 93 を有効にする



* Code 93 を無効にする

Code 32

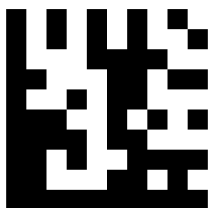


Code 32 を有効にする



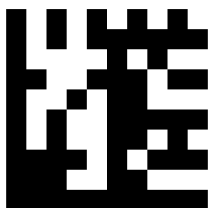


設定開始

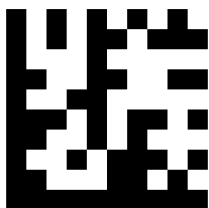


* Code 32 を無効にする

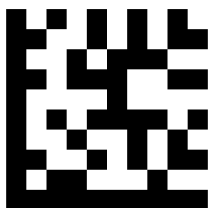
Code 11



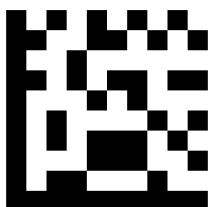
Code 11 を有効にする



* Code 11 を無効にする



* 送信チェックデジット



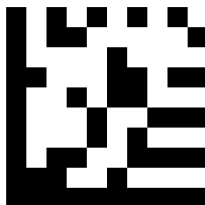
チェックデジットが送信されませんでした



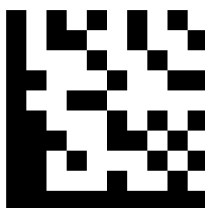


設定開始

Codabar



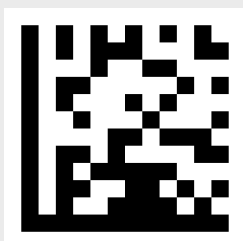
* Codabar を有効にする



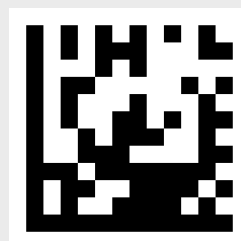
Codabar を無効にする



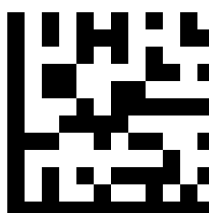
* 検証なし



確認して送信する



認証が送信されない

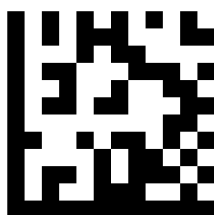


スタート/ストップキャラクタを送信する



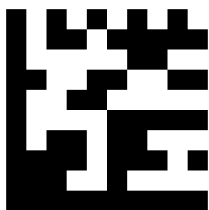


設定開始

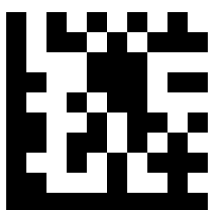


* スタート/ストップキャラクタを送信しない

Plessey

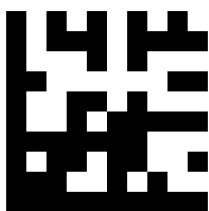


プレッシーを有効にする

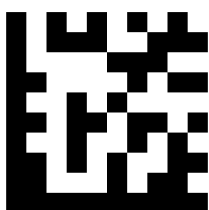


* Plessey を無効にする

MSI Plessey



* MSI Plessey を有効にする

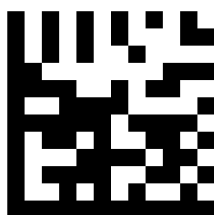


MSI Plessey を無効にする





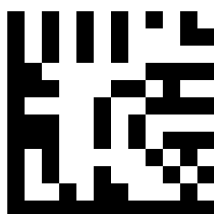
設定開始



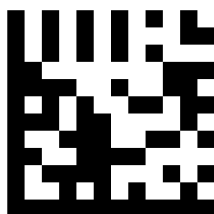
検証なし



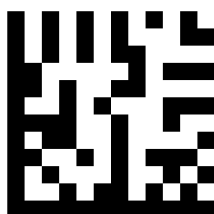
* Mod 10 チェックサム



Mod 10/10 の検証



Mod 11/10 の検証

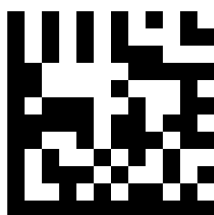


* 送信チェックデジット



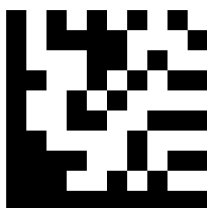


設定開始

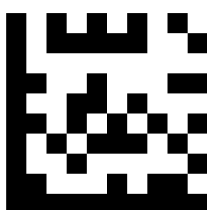


チェックデジットが送信されませんでした

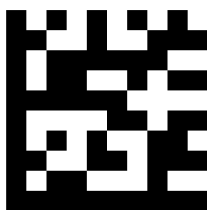
Interleaved 2 of 5



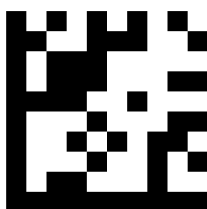
* Interleaved 2 of 5 を有効にする



Interleaved 2 of 5 を無効にする



* 検証なし



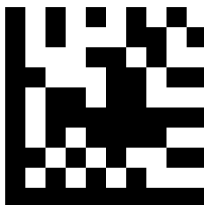
確認して送信する



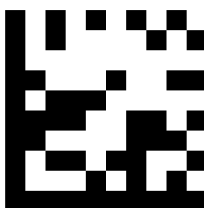


設定開始

IATA 2 of 5

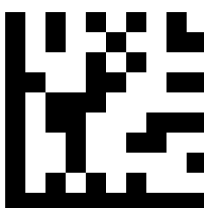


IATA 2/5 を有効にする

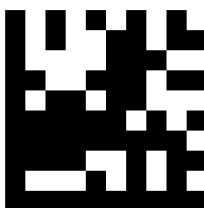


* IATA 2/5 を無効にする

Matrix 2 of 5



Matrix 2 of 5 を有効にする



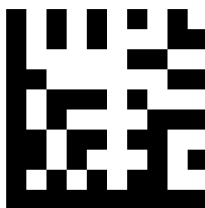
* Matrix 2 of 5 を無効にする

Straight 2 of 5

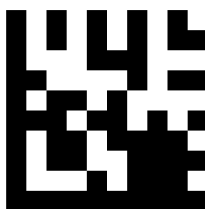




設定開始

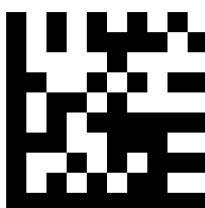


ストレート 2/5 を有効にする

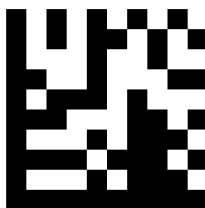


* ストレート 2/5 を無効にする

Pharmacode

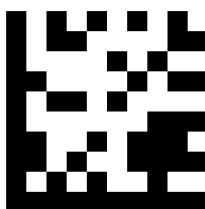


ファーマコードを有効にする



* ファーマコードを無効にする

GS1 DataBar 14

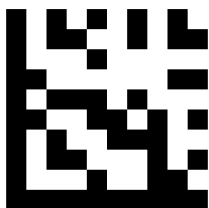


* GS1 DataBar 14 を有効にする

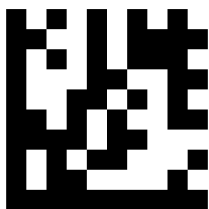




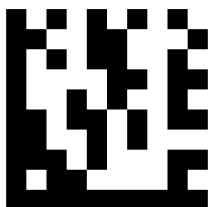
設定開始



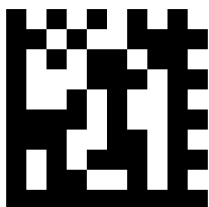
GS1 DataBar 14 を無効にする



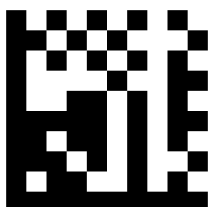
GS1 DataBar 14 スタックを有効にする



* GS1 DataBar 14 スタックを無効にする



* AI (01) 文字を出力します



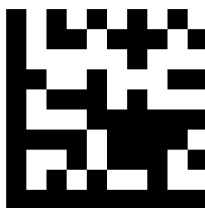
AI(01) 文字は出力されません

GS1 DataBar Expanded

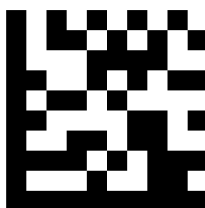




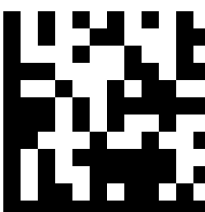
設定開始



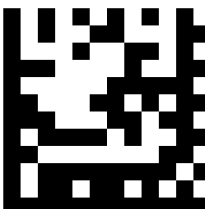
* GS1 DataBar の展開を有効にする



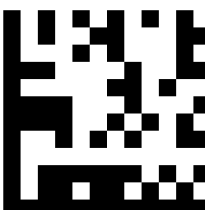
GS1 DataBar 展開を無効にする



GS1 DataBar を有効にする拡張スタック



* GS1 DataBar 拡張スタックを無効にする

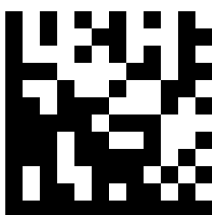


* AI (01) 文字を出力します



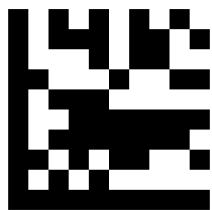


設定開始

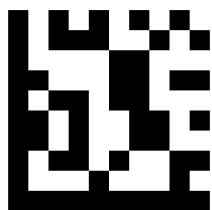


AI(01) 文字は出力されません

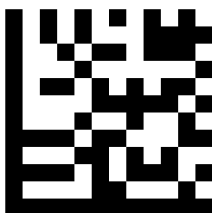
GS1 DataBar Limited



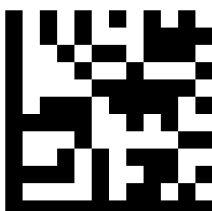
* GS1 DataBar 限定を有効にする



GS1 DataBar 限定を無効にする



* AI (01) 文字を出力します



AI(01) 文字は出力されません





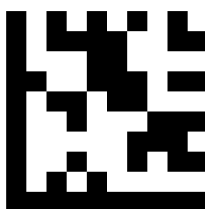
設定開始

QRコードとコンポジットコードの設定

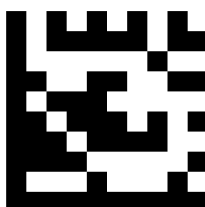
重要

このグループの全ての設定は「設定開始 → 機能設定コード → 設定終了」で行います。

Composite Code-A

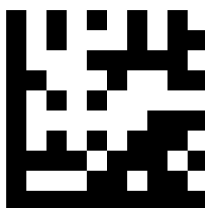


複合コード A を有効にする

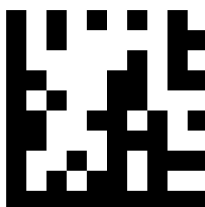


* 複合コード A を無効にする

Composite Code-B



複合コード-B を有効にする

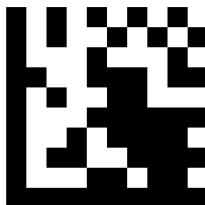


* 複合コード B を無効にする

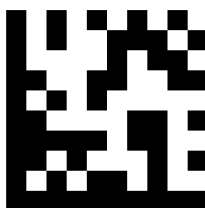




Composite Code-C



複合コード C を有効にする



* 複合コード C を無効にする

PDF417



* PDF417 を有効にする



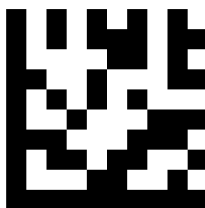
PDF417 を無効にする

MicroPDF417

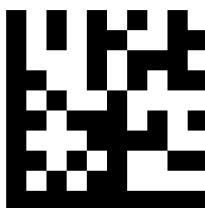




設定開始

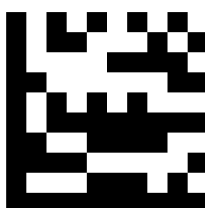


* MicroPDF417 を有効にする



MicroPDF417 を無効にする

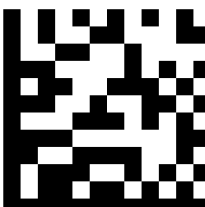
Data Matrix



* Data Matrix を有効にする



Data Matrix を無効にする

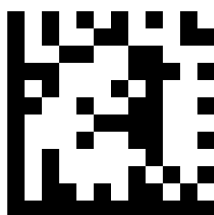


* 画像のデコードを有効にする

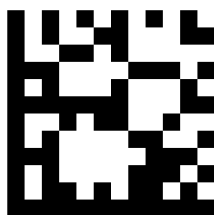




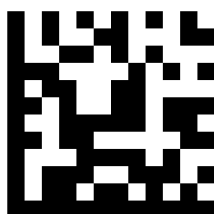
設定開始



画像デコードを無効にする

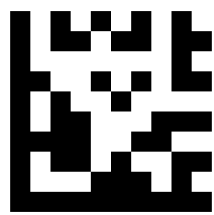


* 長方形 Data Matrix を有効にする

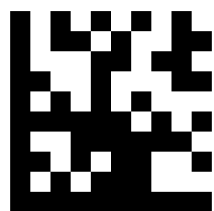


長方形 Data Matrix を無効にする

QR Code



* QR Code を有効にする

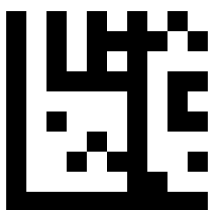


QR Code を無効にする

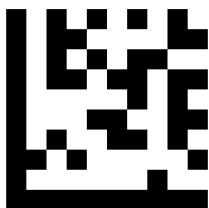




設定開始

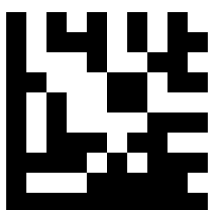


* 画像のデコードを有効にする



画像デコードを無効にする

Micro QR

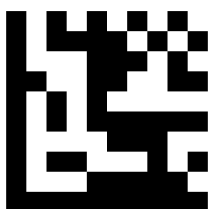


* Micro QR を有効にする



Micro QR を無効にする

Aztec

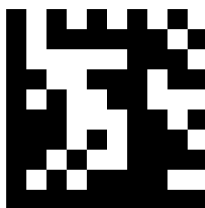


Aztec を有効にする

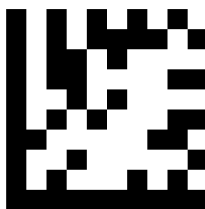




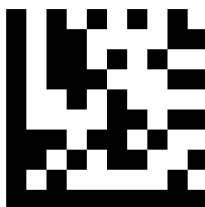
設定開始



* Aztec を無効にする

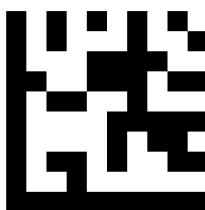


* 画像のデコードを有効にする

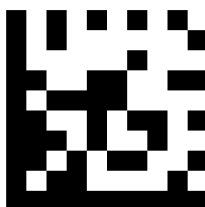


画像デコードを無効にする

MaxiCode



MaxiCode を有効にする



* MaxiCode を無効にする





デコード長の設定

重要

このグループの全ての設定は「設定開始 → 機能設定コード → 設定終了」で行います。

次の設定は、各シンボル体系の読み取り可能な長さを制限するために使用されます。この例では、Code 128 を例にしています。

単一の長さに制限する

単一長のバーコードの読み取りを制限します。たとえば、14 文字の長さのバーコードのみを読み取るように Code 128 を設定します。

設定例

1. 「セットアップの開始」をスキャンします。
2. Code 128 の「単一長に制限」設定コードをスキャンします。
3. ASCII コード表内の 1 設定コードをスキャンします。
4. ASCII コード表内の 4 設定コードをスキャンします。
5. 「セットアップの終了」をスキャンします。

2つの異なる長さに制限する

長さの異なる 2 つのバーコードの読み取りを制限します。たとえば、2 文字と 14 文字の長さのバーコードを読み取るように Code 128 を設定します。

設定例

1. 「セットアップの開始」をスキャンします。
2. Code 128 の「2 つの異なる長さを制限する」設定コードをスキャンします。
3. ASCII コード表内の 0 設定コードをスキャンします。
4. ASCII コード表内の 2 設定コードをスキャンします。
5. ASCII コード表内の 1 設定コードをスキャンします。
6. ASCII コード表内の 4 設定コードをスキャンします。
7. 「セットアップの終了」をスキャンします。

長さの範囲を制限する

バーコードの読み取り長の範囲を制限します。たとえば、Code 128 の読み取り長の範囲を 08~14 文字に設定します。





設定開始

設定例

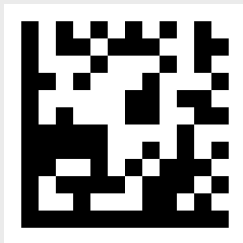
1. 「セットアップの開始」をスキャンします。
2. Code 128 の「制限長範囲」設定コードをスキャンします。
3. ASCII コード表内の 0 設定コードをスキャンします。
4. ASCII コード表内の 8 設定コードをスキャンします。
5. ASCII コード表内の 1 設定コードをスキャンします。
6. ASCII コード表内の 4 設定コードをスキャンします。
7. 「セットアップの終了」をスキャンします。

任意の長さ

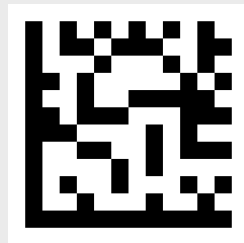
設定例

1. 「セットアップの開始」をスキャンします。
2. Code 128 の「任意の長さ」設定コードをスキャンします。
3. 「セットアップの終了」をスキャンします。

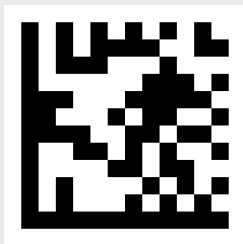
Code 128



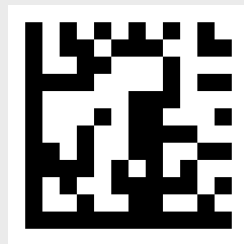
単一の長さに制限する



2つの異なる長さに制限する



長さの範囲を制限する



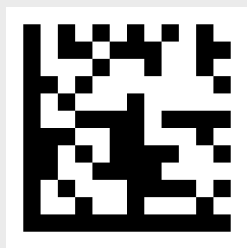
* 任意の長さ



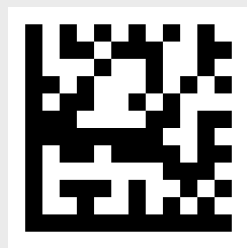


設定開始

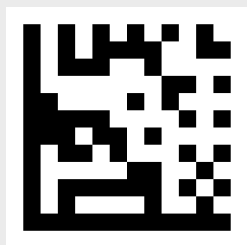
Code 39



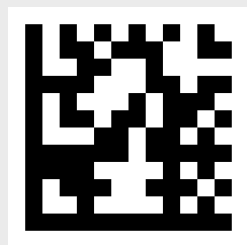
単一の長さに制限する



2つの異なる長さに制限する

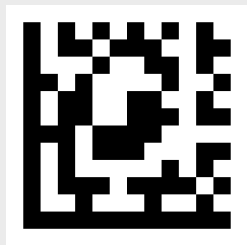


長さの範囲を制限する

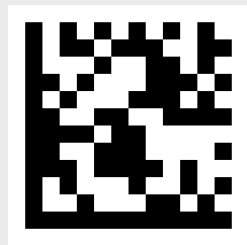


* 任意の長さ

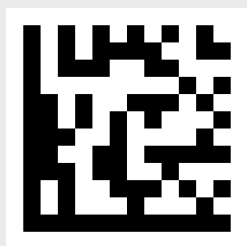
Code 93



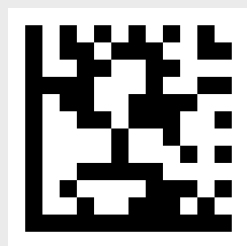
単一の長さに制限する



2つの異なる長さに制限する



長さの範囲を制限する

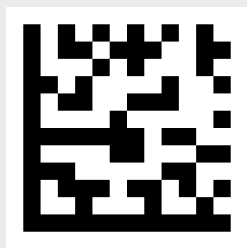


* 任意の長さ

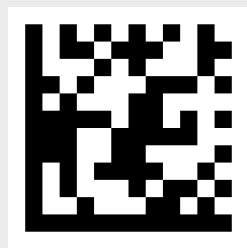




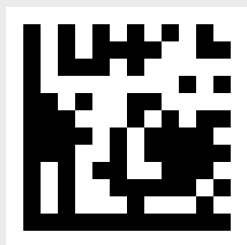
Codabar



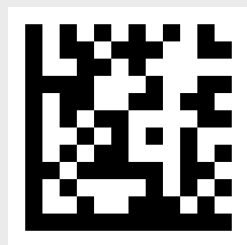
単一の長さに制限する



2つの異なる長さに制限する

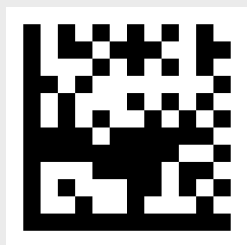


長さの範囲を制限する

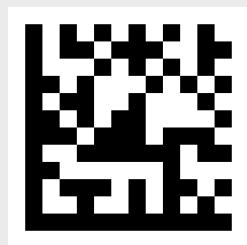


* 任意の長さ

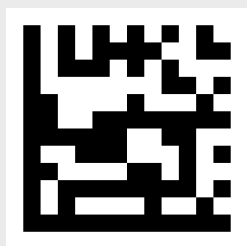
Interleaved 2 of 5



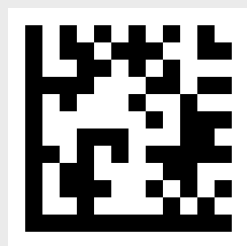
単一の長さに制限する



2つの異なる長さに制限する



長さの範囲を制限する



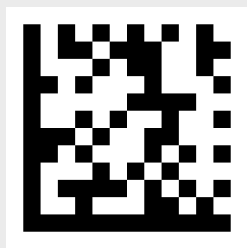
* 任意の長さ



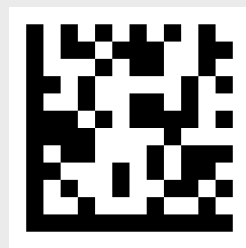


設定開始

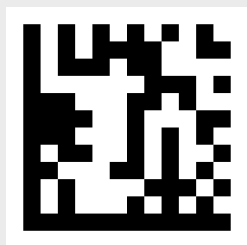
Code 11



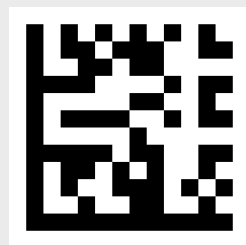
単一の長さに制限する



2つの異なる長さに制限する

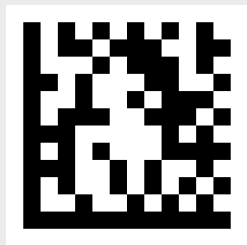


長さの範囲を制限する

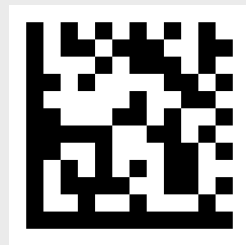


* 任意の長さ

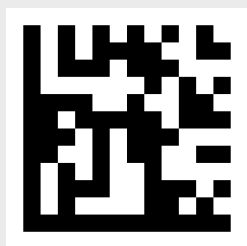
MSI Plessey



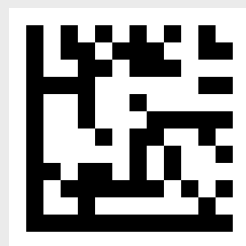
単一の長さに制限する



2つの異なる長さに制限する



長さの範囲を制限する



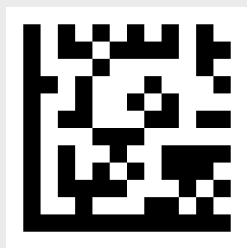
* 任意の長さ



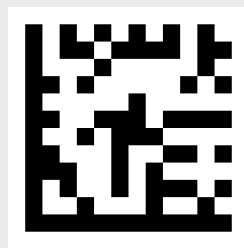


設定開始

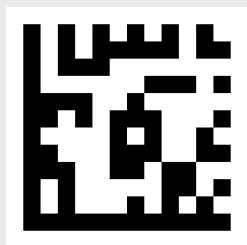
Matrix 2 of 5



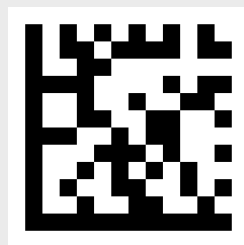
単一の長さに制限する



2つの異なる長さに制限する



長さの範囲を制限する

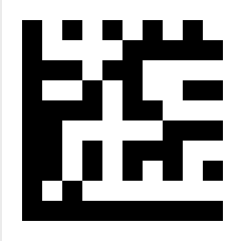
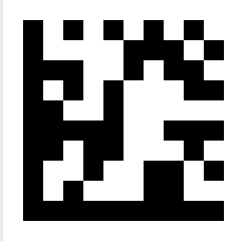
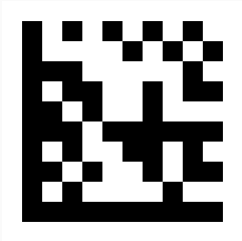
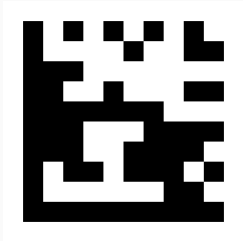
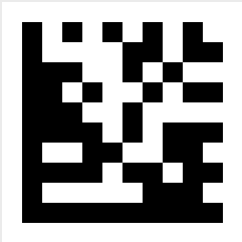
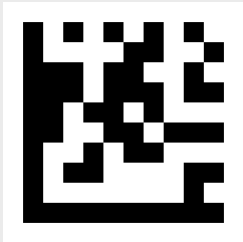
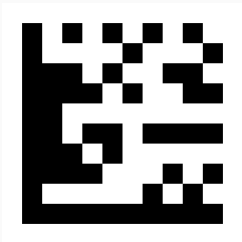
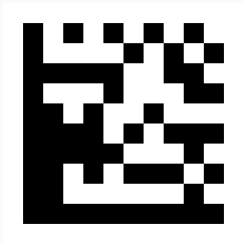
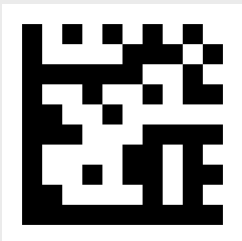
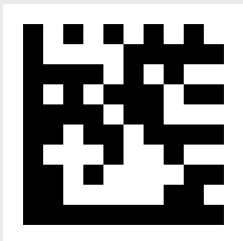


* 任意の長さ



11.6 読取モジュール設定コード

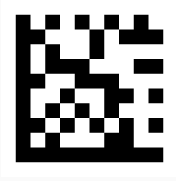
10 進数

番号	設定コード	番号	設定コード
0		1	
2		3	
4		5	
6		7	
8		9	

11.7 読取モジュール文字表

ASCII コード表

制御文字（ファンクションキーのマッピング）

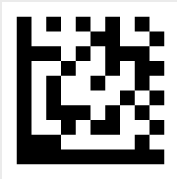
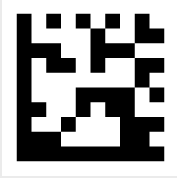
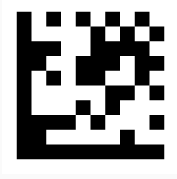
Hex	Dec	ASCII	Ctrl 文字モード	Alt + Unicode モード
00	0	Null	Ctrl+@	Alt + 000
01	1	Home	Ctrl+A	Alt + 001
02	2	End	Ctrl+B	Alt + 002
03	3	Up Arrow	Ctrl+C	Alt + 003
04	4	Down Arrow	Ctrl+D	Alt + 004
05	5	Left Arrow	Ctrl+E	Alt + 005
06	6	Right Arrow	Ctrl+F	Alt + 006
07	7	Null	Ctrl+G	Alt + 007
08	8		Backspace	Alt + 008
09	9		TAB	Alt + 009
0A	10	Null	Ctrl+J	Alt + 010
0B	11	Null	Ctrl+K	Alt + 011
0C	12	Null	Ctrl+L	Alt + 012
0D	13		Enter	Enter
0E	14	Page Up	Ctrl+N	Alt + 014
0F	15	Page Down	Ctrl+O	Alt + 015
10	16	F11	Ctrl+P	Alt + 016
11	17	Null	Ctrl+Q	Alt + 017
12	18	Null	Ctrl+R	Alt + 018
13	19	Null	Ctrl+S	Alt + 019
14	20	Null	Ctrl+T	Alt + 020
15	21	F12	Ctrl+U	Alt + 021
16	22	F1	Ctrl+V	Alt + 022
17	23	F2	Ctrl+W	Alt + 023
18	24	F3	Ctrl+X	Alt + 024
19	25	F4	Ctrl+Y	Alt + 025
1A	26	F5	Ctrl+Z	Alt + 026

次のページに続く

表 4 – 前のページからの続き

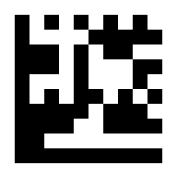
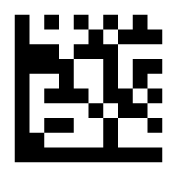
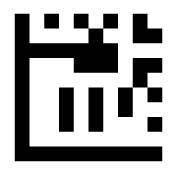
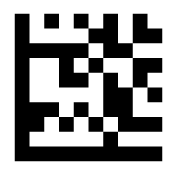
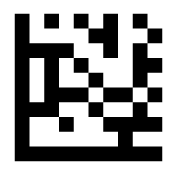
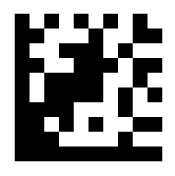
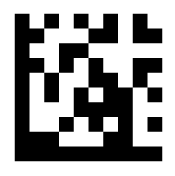
Hex	Dec	ASCII	Ctrl 文字モード	Alt + Unicode モード
1B	27	F6	Ctrl+[	Alt + 027
1C	28	F7	Ctrl+\	Alt + 028
1D	29	F8	Ctrl+]	Alt + 029
1E	30	F9	Ctrl+^	Alt + 030
1F	31	F10	Ctrl+_	Alt + 031

印刷可能な文字と削除

Hex	Dec	ASCII	設定コード
20	32	SPACE	
21	33	!	
22	34	"	
23	35	#	
24	36	\$	

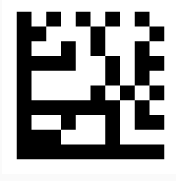
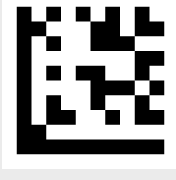
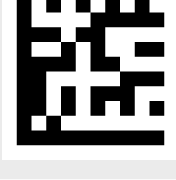
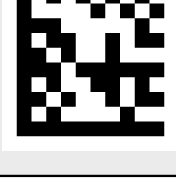
次のページに続く

表 5 – 前のページからの続き

Hex	Dec	ASCII	設定コード
25	37	%	
26	38	&	
27	39	'	
28	40	(	
29	41	)	
2A	42	*	
2B	43	+	

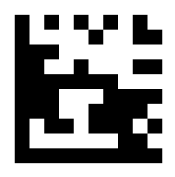
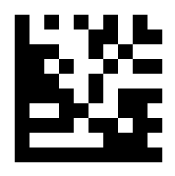
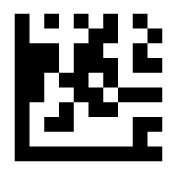
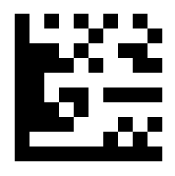
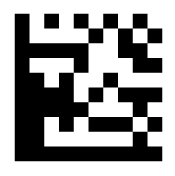
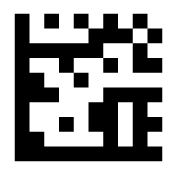
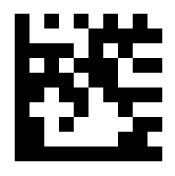
次のページに続く

表 5 – 前のページからの続き

Hex	Dec	ASCII	設定コード
2C	44	,	
2D	45	-	
2E	46	.	
2F	47	/	
30	48	0	
31	49	1	
32	50	2	

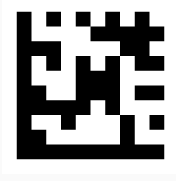
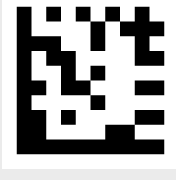
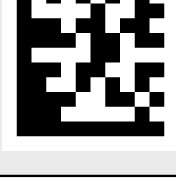
次のページに続く

表 5 – 前のページからの続き

Hex	Dec	ASCII	設定コード
33	51	3	
34	52	4	
35	53	5	
36	54	6	
37	55	7	
38	56	8	
39	57	9	

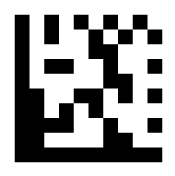
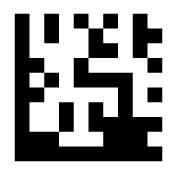
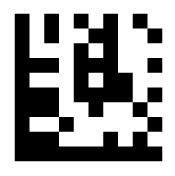
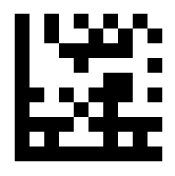
次のページに続く

表 5 – 前のページからの続き

Hex	Dec	ASCII	設定コード
3A	58	:	
3B	59	;	
3C	60	<	
3D	61	=	
3E	62	>	
3F	63	?	
40	64	@	

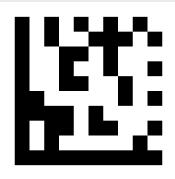
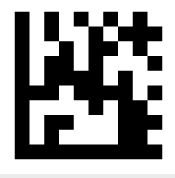
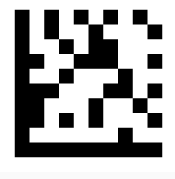
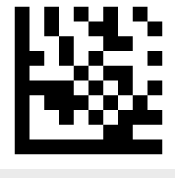
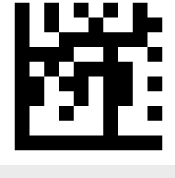
次のページに続く

表 5 – 前のページからの続き

Hex	Dec	ASCII	設定コード
41	65	A	
42	66	B	
43	67	C	
44	68	D	
45	69	E	
46	70	F	
47	71	G	

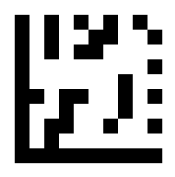
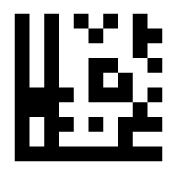
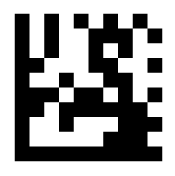
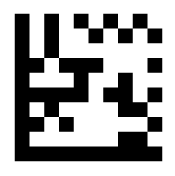
次のページに続く

表 5 – 前のページからの続き

Hex	Dec	ASCII	設定コード
48	72	H	
49	73	I	
4A	74	J	
4B	75	K	
4C	76	L	
4D	77	M	
4E	78	N	

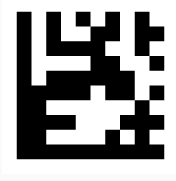
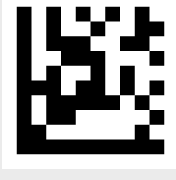
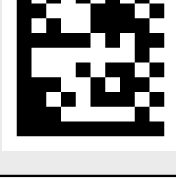
次のページに続く

表 5 – 前のページからの続き

Hex	Dec	ASCII	設定コード
4F	79	O	
50	80	P	
51	81	Q	
52	82	R	
53	83	S	
54	84	T	
55	85	U	

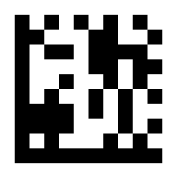
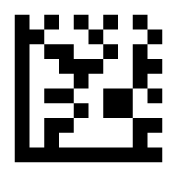
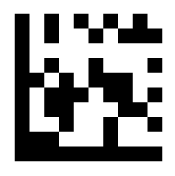
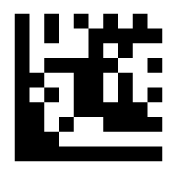
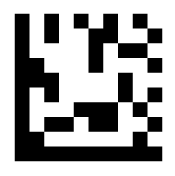
次のページに続く

表 5 – 前のページからの続き

Hex	Dec	ASCII	設定コード
56	86	V	
57	87	W	
58	88	X	
59	89	Y	
5A	90	Z	
5B	91	[	
5C	92	\	

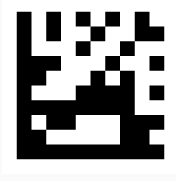
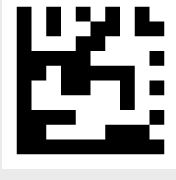
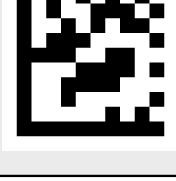
次のページに続く

表 5 – 前のページからの続き

Hex	Dec	ASCII	設定コード
5D	93	]	
5E	94	^	
5F	95	_	
60	96	`	
61	97	a	
62	98	b	
63	99	c	

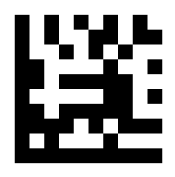
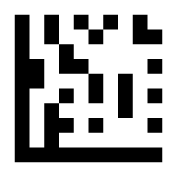
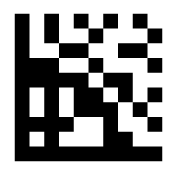
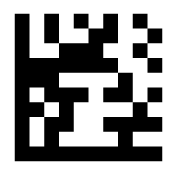
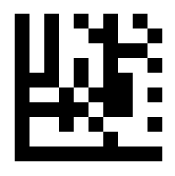
次のページに続く

表 5 – 前のページからの続き

Hex	Dec	ASCII	設定コード
64	100	d	
65	101	e	
66	102	f	
67	103	g	
68	104	h	
69	105	i	
6A	106	j	

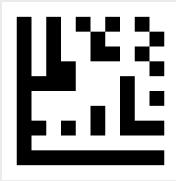
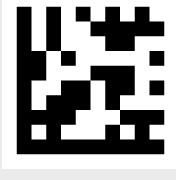
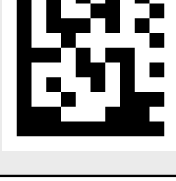
次のページに続く

表 5 – 前のページからの続き

Hex	Dec	ASCII	設定コード
6B	107	k	
6C	108	l	
6D	109	m	
6E	110	n	
6F	111	o	
70	112	p	
71	113	q	

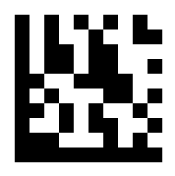
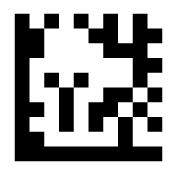
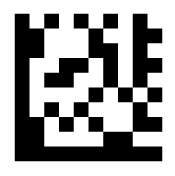
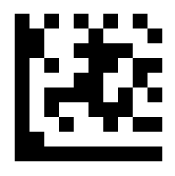
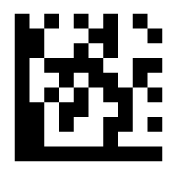
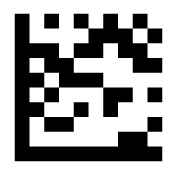
次のページに続く

表 5 – 前のページからの続き

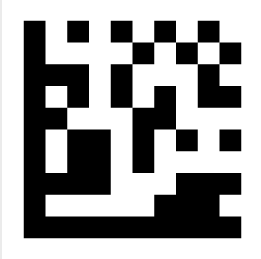
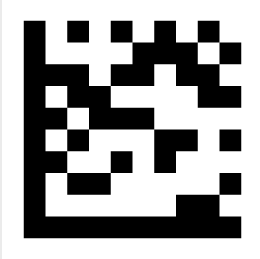
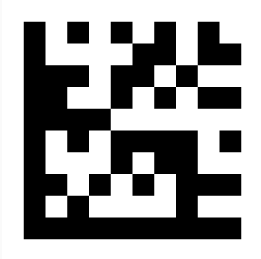
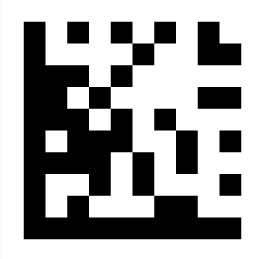
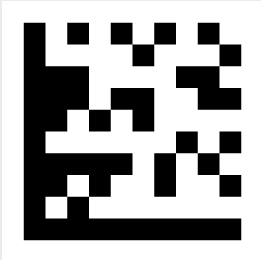
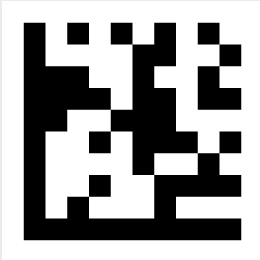
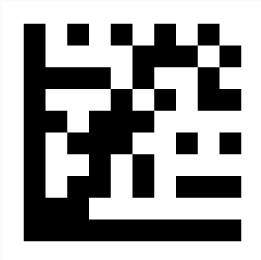
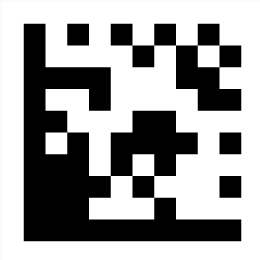
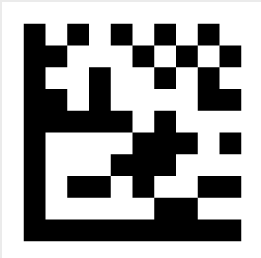
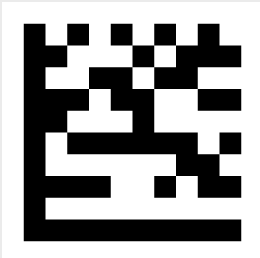
Hex	Dec	ASCII	設定コード
72	114	r	
73	115	s	
74	116	t	
75	117	u	
76	118	v	
77	119	w	
78	120	x	

次のページに続く

表 5 – 前のページからの続き

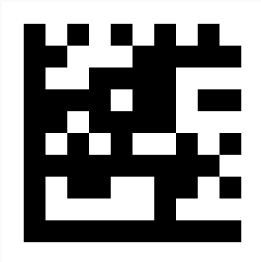
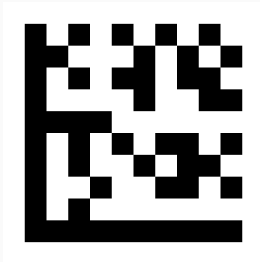
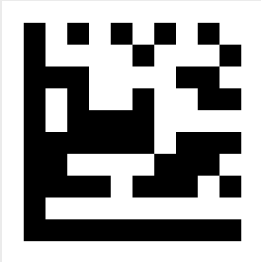
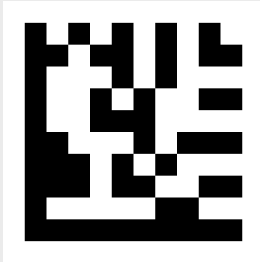
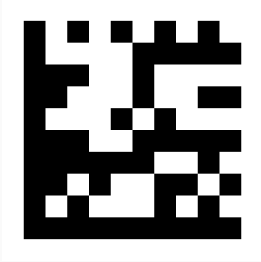
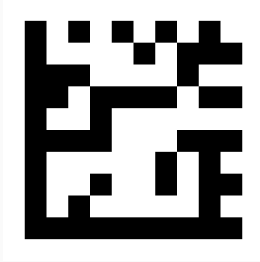
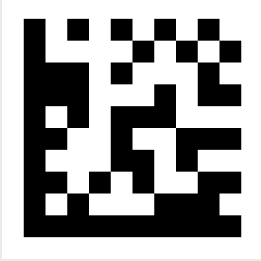
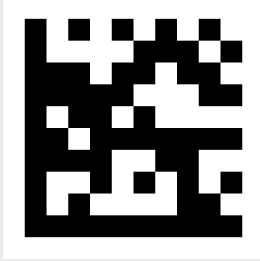
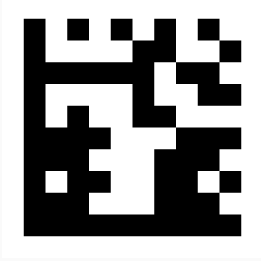
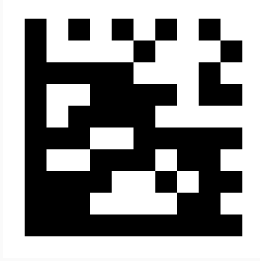
Hex	Dec	ASCII	設定コード
79	121	y	
7A	122	z	
7B	123	{	
7C	124		
7D	125	}	
7E	126	~	
7F	127	Delete	

ファンクションキー

ボタン	設定コード	ボタン	設定コード
Insert		Delete	
Home		End	
Up Arrow		Down Arrow	
Left Arrow		Right Arrow	
Shift		ESC	

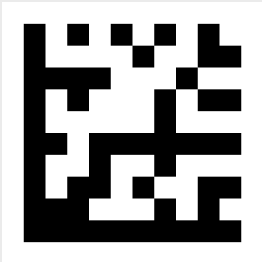
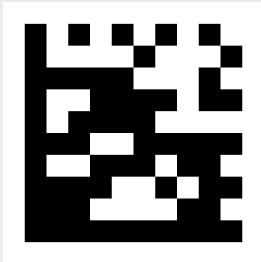
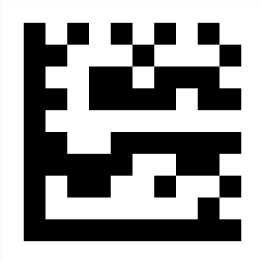
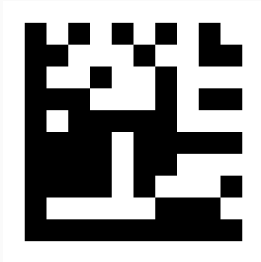
次のページに続く

表 6 – 前のページからの続き

ボタン	設定コード	ボタン	設定コード
Page Up		Page Down	
F1		F2	
F3		F4	
F5		F6	
F7		F8	

次のページに続く

表 6 - 前のページからの続き

ボタン	設定コード	ボタン	設定コード
F9		F10	
F11		F12	

12 付録

12.1 文字検索テーブル

ASCII ファンクションキー文字比較表

00H-0FH

HEX	CODE	* 構成 0	Config3	Config1	Config4	Config2 Windows	Config5 Windows
00H	NUL	NUL	NUL	Ctrl+@	Ctrl+@	ALT+000	ALT+000
01H	SOH	NUL	NUL	Ctrl+A	Ctrl+A	ALT+001	ALT+001
02H	STX	NUL	NUL	Ctrl+B	Ctrl+B	ALT+002	ALT+002
03H	ETX	NUL	NUL	Ctrl+C	Ctrl+C	ALT+003	ALT+003
04H	EOT	NUL	NUL	Ctrl+D	Ctrl+D	ALT+004	ALT+004
05H	ENQ	NUL	NUL	Ctrl+E	Ctrl+E	ALT+005	ALT+005
06H	ACK	NUL	NUL	Ctrl+F	Ctrl+F	ALT+006	ALT+006
07H	BEL	NUL	NUL	Ctrl+G	Ctrl+G	ALT+007	ALT+007
08H	BS	Backspace	Backspace	Ctrl+H	Ctrl+H	ALT+008	ALT+008
09H	HT	TAB	TAB	TAB	Ctrl+I	ALT+009	ALT+009
0AH	LF	NUL	Enter	Ctrl+J	Ctrl+J	ALT+010	ALT+010
0BH	VT	TAB	TAB	Ctrl+K	Ctrl+K	ALT+011	ALT+011
0CH	FF	NUL	NUL	Ctrl+L	Ctrl+L	ALT+012	ALT+012
0DH	CR	Enter	Enter	Enter	Ctrl+M	Enter	ALT+013
0EH	SO	NUL	NUL	Ctrl+N	Ctrl+N	ALT+014	ALT+014
0FH	SI	NUL	NUL	Ctrl+O	Ctrl+O	ALT+015	ALT+015

10H-1FH

HEX	CODE	* 構成 0/3	Config1/4	Config2/5 Windows
10H	DLE	NUL	Ctrl+P	ALT+016
11H	DC1	NUL	Ctrl+Q	ALT+017
12H	DC2	NUL	Ctrl+R	ALT+018
13H	DC3	NUL	Ctrl+S	ALT+019
14H	DC4	NUL	Ctrl+T	ALT+020
15H	NAK	NUL	Ctrl+U	ALT+021
16H	SYN	NUL	Ctrl+V	ALT+022
17H	ETB	NUL	Ctrl+W	ALT+023
18H	CAN	NUL	Ctrl+X	ALT+024
19H	EM	NUL	Ctrl+Y	ALT+025
1AH	SUB	NUL	Ctrl+Z	ALT+026
1BH	ESC	ESC	Ctrl+[	ALT+027
1CH	FS	NUL	Ctrl+\	ALT+028
1DH	GS	NUL	Ctrl+]	ALT+029
1EH	RS	NUL	Ctrl+^	ALT+030
1FH	US	NUL	Ctrl+-	ALT+031

注釈

Mac システムでは、Ctrl キーは Command キーに対応します。

ASCII 文字比較表

20H-5FH

HEX	ASCII	HEX	ASCII	HEX	ASCII	HEX	ASCII
20H	Space	30H	0	40H	@	50H	P
21H	!	31H	1	41H	A	51H	Q
22H	"	32H	2	42H	B	52H	R
23H	#	33H	3	43H	C	53H	S
24H	\$	34H	4	44H	D	54H	T
25H	%	35H	5	45H	E	55H	U
26H	&	36H	6	46H	F	56H	V
27H	'	37H	7	47H	G	57H	W
28H	(	38H	8	48H	H	58H	X
29H	)	39H	9	49H	I	59H	Y
2AH	*	3AH	:	4AH	J	5AH	Z
2BH	+	3BH	;	4BH	K	5BH	[
2CH	,	3CH	<	4CH	L	5CH	\
2DH	-	3DH	=	4DH	M	5DH	]
2EH	.	3EH	>	4EH	N	5EH	^
2FH	/	3FH	?	4FH	O	5FH	_

60H-9DH

HEX	ASCII	HEX	ASCII	HEX	Fun Key	HEX	Fun Key
60H	`	70H	p	80H	F1	90H	End
61H	a	71H	q	81H	F2	91H	Page Down
62H	b	72H	r	82H	F3	92H	Right Arrow
63H	c	73H	s	83H	F4	93H	Left Arrow
64H	d	74H	t	84H	F5	94H	Down Arrow
65H	e	75H	u	85H	F6	95H	Up Arrow
66H	f	76H	v	86H	F7	96H	Print Screen
67H	g	77H	w	87H	F8	97H	*Ctrl
68H	h	78H	x	88H	F9	98H	* シフト
69H	i	79H	y	89H	F10	99H	* 左 Alt
6AH	j	7AH	z	8AH	F11	9AH	* 右 Alt
6BH	k	7BH	{	8BH	F12	9BH	ls Delay
6CH	l	7CH		8CH	Insert	9CH	*Win-GUI
6DH	m	7DH	}	8DH	Home	9DH	* キーストローク
6EH	n	7EH	~	8EH	Page Up		
6FH	o	7FH	DEL	8FH	Delete		

i 注釈

Ctrl、Shift、Alt、GUI をプレフィックスまたはサフィックスとして設定すると、次の文字と組み合わせて出力されます (ALT、TH キーボードに設定した場合はサポートされません)。キーストローク後の文字がそのままキー値として出力されます。